

CyberLink

Power2Go 13.0.0

ユーザー ガイド



著作権

All rights reserved.

法律の認める範囲において、Power2Goは情報、サービス、またはPower2Goに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

Power2Goは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1995-2005 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地

CyberLink Corporation
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)

Web サイト

<https://www.cyberlink.com>

TEL

886-2-8667-1298

FAX

886-2-8667-1385

Copyright © 2023 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

第 1 章:	1	紹介
	1	はじめに
	4	最小システム要件
第 2 章:	5	対応するメディア
	5	対応するファイル形式
	6	対応するディスク タイプ
第 3 章:	7	Power2Go の作業領域
		Power2Go
	7	デスクトップ書き込みガジェット モード
	10	Power2Go フル プログラム モード
第 4 章:	16	データ ディスク
	16	データ ディスクを作成、書き込む
		セキュリティ保護付きデータ
	17	ディスクを書き込む
第 5 章:	21	ビデオ ディスク
	21	ビデオ ディスクを書き込む
		DVD/ブルーレイ ディスク
	33	フォルダーの書き込みを行う
第 6 章:	35	ミュージック ディスク
		オーディオ CD または MP3/WMA
	35	ミュージック ディスクを書き込む
	37	CUE オーディオ ディスクを書き込む
第 7 章:	39	フォト ギャラリー ディスク
		フォト ギャラリー
	39	ディスクを作成、書き込む
	42	フォト ギャラリー ディスクを表示する

第 8 章:	43	オンライン メディア バックアップ
		オンライン
	43	メディアをディスクにバックアップする
		オンライン メディアをハード
	44	ドライブにダウンロードする
第 9 章:	46	ディスク コピー
	46	ディスクをコピーする
	48	ディスク イメージを保存する
	48	ディスク イメージを書き込む
第 10 章:	51	メディア コンバーター
	51	モバイル デバイス向けに動画を変換する
	53	モバイル デバイス向けに音声を変換する
		モバイル
	54	デバイス向けに音声を取り込み、変換する
	56	モバイル デバイス用プレーヤー
	56	音声を取り込む
	57	音声ファイルを変換する
第 11 章:	58	ユーティリティ
	58	ディスクを消去する
	58	Power2Go 仮想ドライブ
		ミックス ディスクを書き込む (CD
	59	Extra/ミックス モード CD)
	61	ディスク マネージャーを使用する
	64	システム リカバリー
	71	LabelPrint を起動する
第 12 章:	72	その他の書き込み注意と機能
	72	CyberLink ISO ビューアーを使用する
	73	マルチセッション ディスク

第 13 章:	74	Power2Go の基本設定
	74	全般の基本設定
	75	容量の基本設定
	75	ライブラリーの基本設定
	76	言語の基本設定
第 14 章:	77	Power2Go の設定
	77	全般の設定
	77	書き込みオプション
	79	情報タブ
	79	ダウンロードの設定
	80	動画の設定
第 15 章:	81	テクニカル サポート
		テクニカル
	81	サポートにお問い合わせになる前に
	82	Web サポート
	82	ヘルプ リソース

第 1 章:

紹介

この章では、CyberLink Power2Go の概要と主な機能について説明します。Power2Go のバージョン、対応するファイルおよびディスク タイプ、最小システム要件についても説明します。

注:当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

CyberLink の製品をご利用いただきありがとうございます。CyberLink Power2Go は、すべてのドライブおよびディスク (CD、DVD、ブルーレイ ディスクなど) に対応するオールメディア ライティング ソフトです。

CyberLink Power2Go を使うと、データ ディスク、ミュージック ディスク、フォト ギャラリー ディスク、ビデオ ディスクなどの作成、書き込みができます。ディスクやリムーバブル USB ストレージドライブにバックアップしたり、メディア ファイルをモバイル デバイス向けに変換したり、オンライン メディアをディスクやハードドライブにバックアップしたり、ディスク ユーティリティでディスクを消去、コピーしたり、仮想ドライブとしてディスク イメージをマウントしたりすることもできます。

CyberLink Power2Go は、PC 向けのオールインワン ライティング ソフトです。

主な機能

ここでは、CyberLink Power2Go の主な機能について説明します。

ディスク書き込み

- ビデオ ディスク (メニュー、チャプター付き) をブルーレイ ディスク、AVCHD、または DVD に書き込み、既存の DVD またはブルーレイ ディスク フォルダーをディスクに書き込み。
- セキュリティー保護 (256 ビット暗号化) を付けて CD、DVD、ブルーレイ ディスク にデータ ファイルを書き込み。
- 様々な音声形式でミュージック ディスクを作成。
- セキュリティー保護 (256 ビット暗号化) 付きのディスクをコピー。

メディア コンバーター

- モバイル デバイスに対応する形式に動画、音声ファイルを変換。
- H.264 (AVC) および H.265 (HEVC) 形式で、最新の 4K プロファイル (最大 4096x2160) で動画を出力。
- TrueTheater の 4 種類のビデオ エンハンスメント (画質補正) を使って、変換する動画を補正。
- オーディオ CD から音声を取り込み、オーディオトラックの情報を編集、モバイルデバイス向けにファイル形式を変換。

オンライン メディア バックアップ

- YouTube から動画 (4K HDR (VP9/WebM) を含む) をダウンロード。
- オンライン メディアを直接ディスクに書き込み、バックアップ。

メディア ファイル形式 (最新)

- MP4 または MKV 形式の H.265 動画ファイルを読み込み。
- HEIF (HEIC) 形式の画像に対応。
- CUE ファイルを読み込み、トラック リストとアルバム情報を記録してオーディオディスクに書き込み。
- APE、FLAC、OGG 音声ファイル形式のオーディオ ディスクを作成。
- APE、FLAC、M4A (AAC)、OGG 音声ファイル形式のオーディオ CD を取り込み、ファイルを保存。
- 既存の音声を APE、FLAC、M4A (AAC)、OGG ファイル形式に変換。

システム リカバリーと仮想ドライブ

- コンピューターおよび Windows のシステム ファイルをディスクまたはリムーバブル USB ストレージ ドライブ (32 GB+) にバックアップ。
- システム リカバリー ディスクまたはリムーバブル USB ストレージ ドライブのシステム イメージからコンピューターを復元。
- ディスク イメージ ファイルをマウントし、実際のディスクドライブと同様にアクセス。

フォト ギャラリー ディスクの作成

- フォト ギャラリー ディスク (PC で実行可能なフォト ショーケース アプリケーションを作成) をオーサリング。

- 画像の説明と外部の URL をディスクに追加。

ディスク マネージャー

- 新規に書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー ライブラリーに追加。
- 前に書き込みを行ったディスクをディスク マネージャーに読み込み。
- ディスク マネージャーを使って、前に書き込みを行ったディスクをクイック検索。

Power2Go バージョン

CyberLink Power2Go で利用可能な機能は、お使いのバージョンによって異なります。

Power2Go のバージョン比較は、当社の Web サイトをご覧ください。
https://jp.cyberlink.com/products/power2go-platinum/compare_ja_JP.html

CyberLink Power2Go のバージョンを確認するには、プログラムの Power2Go のロゴをクリックするか、キーボードの [Ctrl + B] を押すか、新規機能ウィンドウ上の [ヘルプ] > [Power2Go バージョン情報] を選択します。

ソフトウェアをアップデートする

CyberLink では、定期的にソフトウェアのアップグレードおよびアップデート（パッチ）を提供しています。アップグレードまたはアップデートが可能な場合は、自動的に確認ダイアログが表示されます。

注:この機能を使うには、インターネットに接続する必要があります。

ソフトウェアをアップデートするには、次の操作を行います。

1. 次のいずれかの操作を行って、通知センターのウィンドウを開きます。

-  ボタンをクリックします（表示される場合）。
- [CyberLink Power2Go バージョン情報] ウィンドウの [アップグレード] ボタンをクリックします。

2. アップグレードする機能またはアップデートするパッチをクリックします。
3. Web ブラウザー ウィンドウが開き、ここからアップグレードを購入したり、最新パッチをダウンロードします。

最小システム要件

書き込み時に推奨される最小システム要件は、以下の通りです。この推奨要件を満たしていても、書き込みタスクによっては容量を拡張する必要がある場合があります。

最小システム要件	
オペレーティングシステム	• Microsoft Windows 11, 10。
プロセッサ (CPU)	• データの書き込み: Intel Celeron 2.0 GHz または AMD Sempron 1.3 GHz。 • ムービー ディスク書き込み: Intel Core 2 Duo E6400 または AMD Phenom II X2。
グラフィックプロセッサ (VGA)	• 128 MB VGA VRAM。
メモリー	• 2 GB 必須 (4 GB 以上を推奨)。
画面解像度	• 1024 x 768、16 ビット カラー。
ハード ディスクの容量	• DVD 書き込み: 10 GB、ブルーレイ ディスク書き込み: 25 GB。
書き込みドライブ	• ディスクの書き込みには、CD/DVD/ブルーレイ書き込み可能ドライブが必要。
インターネット接続	• ソフトウェア、ファイル形式のアクティブ化やオンラインメディア バックアップにはインターネット接続が必要。

注: システム要件は変更する場合があります。最新のシステム要件およびハードウェアのサポートに関する詳細は、CyberLink (<https://jp.cyberlink.com/>) Power2Go のページでご確認ください。

第 2 章:

対応するメディア

CyberLink Power2Go が対応するメディア ファイル形式および光学ディスクのタイプは次の通りです。対応する特定のメディアは、コンピューターにインストールされているバージョンによって異なります。

Power2Go のバージョン比較は、当社の Web サイトをご覧ください。

https://jp.cyberlink.com/products/power2go-platinum/specs_ja_JP.html

対応するファイル形式

次のファイル形式は、ディスク作成およびメディア ファイル変換、どちらにも対応します。

メディア タイプ	読み込み	書き出し
動画	ASF, AVI, DAT, DVR-MS, FLV (H.264), M2T (H.264), M2TS (H.264), MKV (H.264), MKV (H.265), MOD, MOV (H.264), MP4 (H.264), MP4 (H.265), MPEG, MPEG-2, MPG, MTS (H.264), TOD, TS (H.264), VOB, VRO, WMV, WTV* (単一チャンネル)	MP4* (H.264 AVC), MP4* (H.265 HEVC), WMV*
画像	BMP, GIF, HEIF (.HEIC), JPE, JPEG, JPG, PNG, TIF, TIFF	N/A
音声	APE, DSD Audio* (DSF, DFF), FLAC, M4A* (AAC / ALAC), MP3, Dolby Digital 5.1 オーディオ サウンドトラックを含む動画, Dolby Digital Plus 5.1 オーディオ サウンドトラックを含む動画, OGG, WAV, WMA	APE*, Dolby Digital* (2ch ステレオ, 5.1ch), FLAC*, M4A* (AAC), MP3, OGG, WAV, WMA

注:* この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

対応するディスク タイプ

CyberLink Power2Go は次のディスク タイプの書き込みに対応しています。

- **CD:**CD-R/RW
- **DVD:**DVD-R/RW, DVD-R DL, DVD+R/RW, DVD+R DL, DVD-RAM
- **ブルーレイ ディスク:**BD-R, BD-R DL, BD-RE, BD-RE DL, BDXL

第 3 章:

Power2Go の作業領域

この章では、CyberLink Power2Go の作業領域および各モードについて説明します。CyberLink Power2Go には複数の異なるウィンドウがあります。ただし、これらのウィンドウには共通する機能もあります。

CyberLink Power2Go には次のモードがあります。

- [Power2Go デスクトップ書き込みガジェット モード](#)
- [Power2Go フル プログラム モード](#)

Power2Go デスクトップ書き込みガジェット モードは、2 ステップでディスクに書き込みが行える、より簡単なモードです。Power2Go フル プログラム モードは、すべての書き込み機能、ディスク ユーティリティ、オンライン メディア バックアップ、メディア コンバーターにアクセス可能なモードです。

Power2Go デスクトップ書き込みガジェット モード

Power2Go デスクトップ書き込みガジェットを使うと、ディスクに簡単に書き込むことができます。デスクトップ書き込みガジェットはデスクトップに常駐しており（有効にしている場合）、いつでもガジェットにファイルをドラッグ＆ドロップすることができます。書き込むメディアが準備できたら、簡単に書き込みを行うことができます。

デスクトップ書き込みガジェットは、Windows のすべてのバージョンで利用可能で、次のアイコンが表示されます。

ガジェット アイコン	Power2Go 機能
	[データ ディスク] ガジェット。このアイコンにデータ ファイルをドラッグ＆ドロップして、ディスクに書き込みます。

ガジェット アイコン	Power2Go 機能
	[オーディオ CD] ガジェット。このアイコンに音楽ファイルをドラッグ&ドロップして、オーディオ CD をディスクに書き込みます。CD プレーヤーで再生することができます。
	[ビデオ ディスク]* ガジェット。このアイコンに動画ファイルをドラッグ&ドロップして、DVD、ブルーレイ ディスク、AVCHD ディスクに書き込みます。
	[ディスク コピー] ガジェット。ガジェットの  をクリックして、ディスクのコンテンツを他のディスクにコピーします。ディスク コピーに関する詳細は、「ディスク コピー」を参照してください。

注:* この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

デスクトップ書き込みガジェットを有効にする

CyberLink Power2Go をインストールすると、デスクトップ書き込みガジェットは自動的に有効になります。有効になっている場合、 のアイコンが Windows の通知領域（システムトレイ）に表示されます。アイコンをダブルクリックしてガジェットを表示するか、右クリックして他のオプションを表示します。

Power2Go デスクトップ書き込みガジェットが無効になっている場合は、Windows のスタートメニューから [CyberLink デスクトップ書き込みガジェット 13] オプションを選択します。キーボードの [Windows] キーを押して “デスクトップ書き込みガジェット” と入力します。

デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行う

デスクトップ書き込みガジェットでディスクの書き込みを行うには、次の操作を行います。

1. 読み取り元のファイルをコンピューターから検索します。
2. ディスクに書き込むすべてのファイルをデスクトップ書き込みガジェットのアイコン（音楽ファイルは [オーディオ CD] ガジェット、動画ファイルは [ビデオ ディスク] ガジェットなど）にドラッグ&ドロップします。
3. Power2Go デスクトップ書き込みガジェットの  をクリックし、書き込み処理を開始します。

デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行う際のヒント

デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行う際のヒントは、次の通りです。

- デスクトップ書き込みガジェットの機能を切り替えるには、ガジェット側面の矢印をクリックします。



- デスクトップ書き込みガジェット右下の  アイコンをクリックすると、ウィンドウが開き、書き込むコンテンツのリストが表示されます。
- デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行うミュージック ディスクは、オーディオ CD 形式になります。
- 動画ファイルを [オーディオ CD] のアイコンにドラッグ&ドロップすると、動画ファイル内の音声抽出されます。

デスクトップ書き込みガジェットを設定する

Windows の通知領域（システム トレイ）の  アイコンを右クリックすると、デスクトップ書き込みガジェットの設定オプションが表示されます。

オプションは次の通りです。

- 常に手前に表示: デスクトップ書き込みガジェットを他の実行中のプログラムの前面に表示します。
- システム起動時にプログラムを起動: コンピューターの起動時に自動的にデスクトップ書き込みガジェットを起動します。自動的に起動させないようにするには、このオプションを選択解除します。
- CyberLink 仮想ドライブ: イメージ ファイルなどをマウント可能な仮想ドライブ ウィンドウを起動します。詳細は、[「Power2Go 仮想ドライブ」](#)を参照してください。
- ディスクの消去: ディスクドライブ内の再書き込み可能ディスクを消去します。
- 追記禁止: このオプションを選択すると、ディスクの追記が禁止されます。追記禁止を実行した場合、ディスクに新しいデータは追加できなくなります。
- バージョン情報: Power2Go のバージョン情報を表示します。
- ヘルプ: ヘルプ ファイルを表示します。
- 終了: デスクトップ書き込みガジェットを終了します。

Power2Go フル プログラム モード

フル プログラム モードは、CyberLink Power2Go のメイン モードです。このモードでは、CyberLink Power2Go を起動すると自動的に表示される新規タスク ウィンドウのすべての機能にアクセスすることができます。



プロジェクトを開始するには、上のタスクを選択してから、実行する機能を選択します。このモードからアクセス可能なタスクは、次の通りです。

タスク	Power2Go 機能
データ ディスク	[データ ディスク] では、データ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。データ ファイルには、各種ドキュメントまたはデジタル ファイルを入れることができます。詳細は、 「データ ディスク」 を参照してください。
ビデオ ディスク	[ビデオ ディスク]* では、動画ファイルを含む DVD/ブルーレイ*/AVCHD* ディスクを作成することができます。DVD/ブルーレイ ディスク フォルダーをディスクに書き込むこともできます。詳細は、 「ビデオ ディスク」 を参照してください。
ミュージック ディスク	[ミュージック ディスク] では、MP3*、WMA、WAV の音声ファイルを CD または DVD に書き込むことができます。動画ファイルから音声を出したり、オーディオ CD を作成したり、CUE オーディオ ディスクに書き込むこともできます。詳細は、 「ミュージック ディスク」 を参照してください。
フォト ギャラリー ディスク	[フォト ギャラリー ディスク]* では、CD、DVD、ブルーレイ ディスク にフォト ギャラリー ディスクを作成することができます。これらの

タスク	Power2Go 機能
	ディスクには、コンピューターで実行可能なフォト ショーケース アプリケーション (ビューアー付き) が含まれます。詳細は、 「フォト ギャラリー ディスク」 を参照してください。
オンライン メディア バックアップ	[オンライン メディア バックアップ] では、YouTube 動画をバックアップすることができます。詳細は、 「オンライン メディア バックアップ」 を参照してください。
ディスクコピー	[ディスクコピー] では、ディスクのコピーを行うことができます (コンピューターに 2 つ以上のディスクドライブがある場合)。ディスク イメージの作成または書き込みを行うこともできます。詳細は、 「ディスクコピー」 を参照してください。
メディア コンバーター	[メディア コンバーター] では、すべての動画と音声ファイル (CD 中の音声を含む) をモバイル デバイス用に変換することができます。ここでは、音声を取り込んだり、オーディオ コンバーターにアクセスすることもできます。詳細は、 「メディア コンバーター」 を参照してください。
ユーティリティ	[ユーティリティ] では、ディスク マネージャー、ディスクの消去、システム リカバリー* バックアップ (ディスクまたはリムーバブル USB ストレージ ドライブ) の作成などの便利な機能にアクセスすることができます。仮想ドライブにアクセスしたり、ミックス モード CD や CD Extra を作成することもできます。詳細は、 「ユーティリティ」 を参照してください。

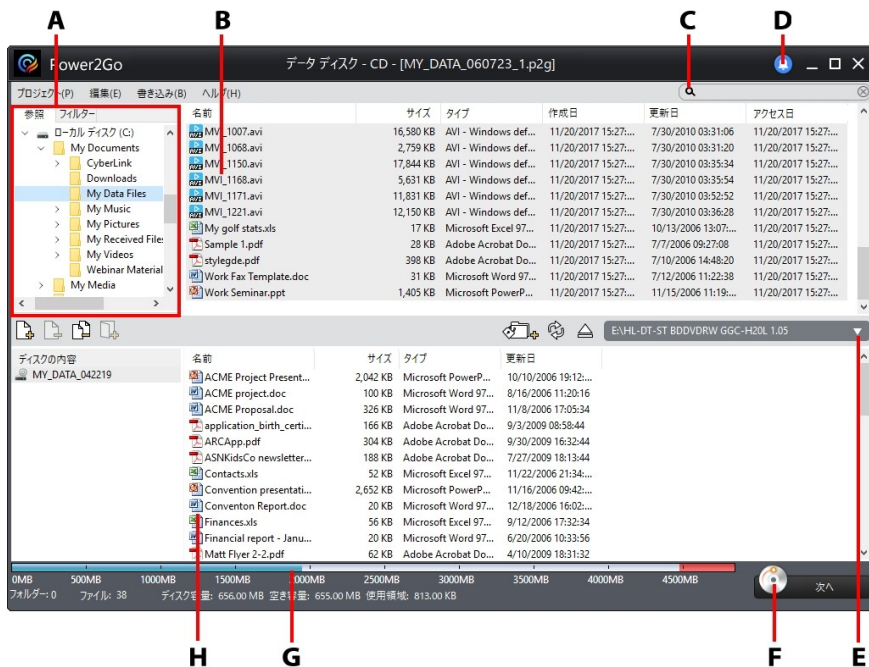
注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

新規機能ウィンドウ

新規タスク ウィンドウから機能を選択すると、次のように表示されます。

注:一部の機能は異なるウィンドウに表示されます。詳細は、ヘルプ ファイルの他セクションを参照してください。

CyberLink Power2Go 13.0.0



- A** - 検索ペイン **B** - メディア ペイン (コンピューター/オンライン **C** - 検索 フィールド
メディア中のメディア)
- D** - アップグレード **E** - 書き込みドライブの選択 **F** - 次へ ボタン
- G** - ディスク容量 イン **H** - コンテンツ エリア (書き込み/ダウンロード/
ジケター 変換したメディア)

検索ペインを使用する

検索ペインを使って、書き込み、変換するコンテンツを検索したり、フィルターにかけます。検索ペインには、[参照]、[フィルター]、[メディア]、[オンライン メディア] タブのいずれかが表示されます。

注: 検索フィールドにキーワードを入力して、Power2Go ライブラリー中の音楽、動画、データファイルを検索することもできます。フォルダーを Power2Go のライブラリーに追加すると、音楽、動画、データファイルを検索することができます。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#)を参照してください。

参照タブ

[参照] タブでは、コンピューター内のドライブおよびフォルダーを検索することができます。このタブは Windows エクスプローラーに似ています。フォルダーを選択すると、選択したディスク タイプに対応する形式のファイルがメディア ペインに表示されます。

フィルター タブ

[フィルター] タブは、データ ディスクを書き込む際に利用できます。このタブでは、ディスクに入れるデータ ファイルの種類をフィルターすることができます。

[すべてのファイル] を選択して、フォルダー内のすべてのファイルを表示します。または、[カスタム ファイル] を選択して、検索リストからファイル タイプを選択します。[編集] をクリックして、フィルターするファイル拡張子のリストをカスタマイズします。[編集] ボタンを選択して、フィルター リストからファイル拡張子を追加/削除することもできます。

メディア タブ

[メディア] タブでは、ミュージック ディスクを作成中に、音楽ファイルを素早く検索することができます。Power2Go のライブラリー サービスにより、音楽は [アーティスト]、[アルバム]、[ジャンル]、[年]、[最近追加] に分けて表示されます。

注: [ライブラリー] の基本設定タブでフォルダーを追加すると、Power2Go のライブラリーに自動的に追加されるようになります。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#)を参照してください。

オンライン メディア タブ

[オンライン メディア バックアップ] ウィンドウの検索ペインには [オンライン メディア] タブのみが表示されます。ここでは、YouTube の動画を検索したり、バックアップすることができます。詳細は、[「オンライン メディア バックアップ」](#) を参照してください。

Power2Go のプロジェクト

データ、動画、音楽、フォト ギャラリー ディスクを作成する際、新しいプロジェクトを P2G の形式で保存することができます。これにより、後で書き込みを行ったり、同じディスクをもう一度書き込むことができます。

プロジェクトを保存するには、メニューの [プロジェクト] > [保存] または [名前を付けて保存] を選択します。以前作成したプロジェクトを開くには、新規機能ウィンドウ上の [プロジェクト] > [開く] を選択します。

第 4 章:

データ ディスク

[データ ディスク] では、データ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。データ ファイルには、ほとんどのドキュメントまたはデジタル ファイル種類を入れることができます。重要なコンテンツをディスクに書き込む場合、セキュリティー保護付きデータ ディスクを作成することもできます。

データ ディスクを作成、書き込む

データ ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [データ ディスク] オプションをクリックし、作成するディスクのタイプ ([CD]、[DVD]、[ブルーレイ ディスク]) を選択します。[データ ディスク] ウィンドウが開きます。
2. 検索ペイン ([「検索ペインを使用する」](#)を参照) を使って、ディスクに入れるファイルを検索します。

注: データ ディスクを作成前に Power2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーにデータ ファイルを入れると、検索フィールドにキーワードを入れることで検索可能になります。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#)を参照してください。

3. 書き込みを行うファイルまたはフォルダーを選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックしてデータ ファイルを追加したり、 ボタンをクリックしてディスクにフォルダーを作成することもできます。

4. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
5. [「全般の設定」](#)のオプションおよび[「書き込みオプション」](#)からも調整できます。
6. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。

注: 書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[「書き込み後、自動的にシャットダウンする」](#)オプションを選択します。

7. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。

- [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
- [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスク ラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

セキュリティー保護付きデータ ディスクを書き込む

セキュリティー保護付きデータ ディスクのオプションでは、パスワード保護付きのデータ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。

ファイル名を暗号化して、セキュリティー保護付きのデータ ディスクを作成することもできます。暗号化されたファイル名は、正しいパスワードを入力しない限り非表示になります。セキュリティー保護するファイルは、データ ディスクのすべてのファイルまたは一部のファイルから選択できます。

セキュリティー保護付きのデータ ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [データ ディスク] オプションをクリックし、作成するディスクのタイプ ([CD]、[DVD]、[ブルーレイ ディスク]) を選択します。[データ ディスク] ウィンドウが開きます。
2.  ボタンをクリックします。
3. セキュリティーレベルの選択 [セキュリティー保護 (128 ビット)] または [高度なセキュリティー保護 (256 ビット)] から選択します。
4. セキュリティー保護付きデータ ディスクの [パスワード] を入力します。[パスワードの確認] でもう一度パスワードを入力します。パスワードを忘れた場合用に、[パスワード リマインダー] を入力します。
5. ディスク内のファイル名を暗号化する場合は、[セキュリティー保護付きディスクのファイル名を非表示にする] を選択します。

6. **[OK]** をクリックします。コンテンツ エリアは 2 つのセクションに分割されます。



7. 検索ペイン ([「検索ペインを使用する」](#)を参照) を使って、ディスクに入れるファイルを検索します。

注: セキュリティー保護付きのデータ ディスクを作成前に Power2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーにデータ ファイルを入れると、検索フィールドにキーワードを入れることで検索可能になります。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#)を参照してください。

8. 書き込みを行うファイルまたはフォルダーを選択して、セキュリティ保護エリア (ピンク) または非保護エリア (ブルー) にドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックして、データ ファイルを追加したり、 ボタンをクリックして、選択したディスクエリアにフォルダーを作成することもできます。

9. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
10. [「全般の設定」](#)のオプションおよび[「書き込みオプション」](#)からも調整できます。
11. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。

注: 書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

12. 書き込みが完了したら、ウィンドウ ボックスに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
- [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスク ラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- **[OK]** をクリックして、ウィンドウ を閉じます。

*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

セキュリティ保護付きディスクのコンテンツを表示する

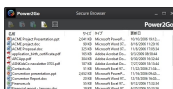
セキュリティ保護付きディスクにデータを書き込むと、CyberLink セキュリティ ブラウザーでディスクのコンテンツを表示することができます。

1. セキュリティ付きデータ ディスクをディスク ドライブに挿入すると、パスワード入力画面が表示されます。



注:セキュリティ保護付きデータ ディスクを挿入しても、CyberLink セキュリティ ブラウザーが自動的に起動しない場合は、Windows エクスプローラーでディスクを検索し、ドライブ内のディスクをダブルクリックして、手動で起動してください。

2. パスワードを入力して **[OK]** をクリックすると、CyberLink セキュリティ ブラウザーが表示されます。



注:ディスクの作成時に[セキュリティ保護付きディスクのファイル名を非表示にする]を選択した場合、リスト ビュー内のセキュリティ保護フォルダーをダブルクリックして、ファイルを表示します。

3. CyberLink セキュリティ ブラウザーで実行可能な機能は、次の通りです。

-  をクリックして、ファイルをデフォルトのプログラムで表示します。
- ディスクからファイルを抽出してコンピューターに保存するには、ファイルを選択して  をクリックします。

注:セキュリティ保護付きデータ ディスクに複数のサブフォルダーが含まれる場合、 をクリックして前のフォルダーに移動します。

- ファイルを検索するには、 をクリックします。ファイル名またはフォルダー名の一部またはすべてを入力します。検索中に、[サイズ] をクリックして指定するサイズのファイルを表示するか、[更新日] をクリックして指定する日に作成または変更されたファイルを表示することもできます。

注: CyberLink セキュリティー ブラウザー内のアイテムの表示を変更するには、 をクリックします。

第 5 章:

ビデオ ディスク

[ビデオ ディスク]* オプションでは、動画ファイルにメニューを付けて DVD、ブルーレイ、AVCHD ディスクに書き込むことができます。

注:読み込み可能な動画ファイルの形式は、[「対応するファイル形式」](#)を参照してください。

DVD/ブルーレイ ディスク フォルダーをディスクに書き込むこともできます。

注: この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

ビデオ ディスクを書き込む

新規タスクのウィンドウで [DVD-Video ディスク]、[ブルーレイ ディスク]、または [AVCHD] オプションを選択した場合、作成ディスク ウィンドウは次のように表示されます。



A - ディスクコンテンツ B - メニュー基本設定 C - ディスク基本設定 D - ディスクメニュー
 タブ ブ ブ フォント プロパティ
 E - ディスクメニュー F - ディスクに書き込み G - ディスクメニュー H - ディスクメニュー
 レビュー ウィンドウ レビュー ロパティ
 I - メニュー ナビゲーション J - 容量表示 切替 K - ディスクコンテンツ
 コントロール

ビデオ ディスクの作成および書き込み手順は、必要条件によって異なります。[ディスク作成] ウィンドウで実行可能な機能は、次の通りです。

ビデオ ディスクを作成する

ビデオ ディスクを作成するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ビデオ ディスク] オプションをクリックします。**[DVD-Video ディスク]**、**[ブルーレイ ディスク]**、または **[AVCHD]** オプションのいずれかを選択して、[ディスク作成] ウィンドウを開きます。
2.  ボタンをクリックして、ディスクに入れる動画ファイルを検索、選択します。
3. 動画ファイルを追加したら、ディスク コンテンツ エリアでクリックして [クリップをトリミング](#) したり、[チャプターを追加](#) したり、[回転](#) したりすることができます。
4. 読みこんだ動画の縦横比が 16:9 以外 (9:16 や 1:1 など) の場合、 をクリックすると動画の余白部分に InstaFill が適用され、ほかしエフェクトが入ります。**[有効化]** オプションを選択して、すべての動画に適用する場合は **[すべてに適用]** を選択します。
5.  をクリックして、他の動画ファイルを読み込みます。読み込んだそれぞれの動画は、完成ディスク上では異なる動画/シーンになります。

注: 動画ファイルを追加したら [メニュー構造] ボタンをクリックして、ディスクメニューのツリー構造を確認します。構造 ツリーには、ディスク中の全動画/シーンと各タイトルのチャプターが表示されます。

6.  をクリックして、読み込んだ動画をプレビューします。

注:  をクリックして、プレビュー動画の解像度/画質を設定することができます。画質を高くすると、プロジェクトをプレビューするためにより多くのリソースが必要になります。

7. ディスクの作成処理を完了します。

- [メニューの基本設定を編集する](#)
- [ディスクの基本設定を編集する](#)
- [動画をディスクに書き込む](#)

追加されたビデオ クリップをトリミングする

追加されたビデオ クリップをトリミングするには、次の操作を行います。

1. 追加されたクリップをクリックして、 ボタンをクリックします。
2. プレーヤー コントロールを使ってトリミングの開始位置を見つけ、 をクリックして開始位置を設定するか、開始位置スライダーをこの位置にドラッグします。

3. プレーヤー コントロールを使ってトリミングの終了位置を見つけ、 をクリックして終了位置を設定するか、終了位置スライダーをこの位置にドラッグします。


注:  をクリックして、トリミングを行う動画の表示時間をロックすることができます。ロックしたら、選択したコンテンツをクリックして、トリミングを行う位置までドラッグします。

4. トリミングするクリップをプレビューすることができます。[出力] をクリックして、プレーヤー コントロールの [再生] ボタンをクリックします。元の動画を再生するには、[オリジナル] をクリックします。
5. **[OK]** をクリックして変更内容を設定し、クリップをトリミングします。

注: [トリミング] ウィンドウから、トリミングしたクリップを設定し直すこともできます。

追加されたビデオ クリップにチャプターを追加する

追加されたビデオ クリップにチャプターを追加するには、次の操作を行います。

1. 追加されたクリップをクリックし  ボタンをクリックして、[チャプターの設定] ウィンドウを開きます。
2. チャプターを自動的に追加するには  ボタンをクリックして、次のいずれかを行います。
 - 任意の間隔でチャプターを挿入: このオプションを選択して、間隔(分)を入力します。その間隔でチャプターが挿入されます。[OK] をクリックして、クリップに自動的にチャプターを挿入します。
 - 均等にチャプターを挿入: このオプションを選択して、チャプターの数を入力します。均等にチャプターが挿入されます。[OK] をクリックして、クリップにチャプターを挿入します。
3. チャプターを手動で追加する場合、プレーヤー コントロールを使ってチャプターの追加位置を見つけ、 ボタンをクリックします。同じ手順を繰り返して、全チャプターを追加します。

注: チャプター マーカーをクリックし他の位置にドラッグして、編集することができます。1 つ以上のチャプターを削除するには、チャプター マーカーを選択して  をクリックします。  をクリックして、追加されたチャプターをすべて削除します。

4. 各チャプターのサムネイル画像を設定するには、プレーヤー コントロールを使ってチャプターから希望のフレームを検索して、 をクリックして画像を設定します。

注: チャプター一覧からチャプターを右クリックし [チャプター名の変更] を選択すると、メニュー中のチャプター名を変更することができます。

5. [OK] をクリックして [チャプターの設定] ウィンドウを閉じ、追加したクリップに適用した変更内容をすべて保存します。

注: 追加したら、[チャプターの表示] をクリックします。クリップに追加した全チャプターが表示されます。

追加したビデオ クリップを回転する

追加したビデオ クリップを回転するには、 (左回転) または  (右回転) をクリックします。

メニューの基本設定を編集する

ディスクに入れるコンテンツをすべて追加したら、[メニューの基本設定] タブをクリックして、既存のディスク メニューを編集したり、他のディスク メニュー テンプレートを選択したりします。

CyberLink Power2Go に搭載されるディスク メニュー テンプレートはマルチレイヤー構造で、次のページから構成されます。

- メイン メニュー ホーム (ルート メニュー) ページ。ディスクを再生時に最初に表示されるメニュー ページです。これにはメニュー オープニングやモーション サムネイルなどを含めることができます。

注: ディスクにルート メニューを入れない選択も可能です。[メニューの基本設定] タブ左下の [ルート メニューを含める] オプションを選択解除します。

- 2 つ以上のビデオ クリップ (タイトル) またはチャプター付きのクリップを追加する場合、ディスクに [シーン] のページが表示されます。ルート メニューを含めない場合、ディスクを再生時にシーンのページが表示されます。

ディスク メニュー テンプレートを選択する

CyberLink Power2Go には複数のテンプレートが実装されています。テンプレートには、モーションやメニュー音楽が予め設定されているものもあります。

 をクリックしてエクスプローラー ビューで開き、メニュー テンプレートのフィルター リストを表示します。他のメニュー オプションを利用するには、[メニュー パックストア] をクリックして CyberLink のメニュー パック ストアからプレミアム メニューを購入したり、[テンプレートのダウンロード] サムネイルをクリックして DirectorZone からダウンロードすることもできます。

注: エクスプローラー ビューの  をクリックして新しいメニュー タグを追加し、メニューを整理することができます。タグにメニューを追加するには、タグ上にドラッグ&ドロップします。

メニュー テンプレートを選択してプレビューします。ハイライトしたメニュー ページのスタイルを、指定するメニュー ページ (ルート メニューまたはタイトル (シーン) ページ) に適用するには [適用] を選択します。すべてのページ (ルート メニューまたはタイトル (シ

ーン) ページ) に同じスタイルを適用する場合は、[すべてのページに適用] を選択します。

注:完成 ディスクにメニューを入れない場合は、[メニューの基本設定] の [メニューなし] のテンプレートを選択します。

ディスク メニューのプロパティを編集する

ディスク メニューのプロパティの一部を編集することができます。メニュー ナビゲーション コントロールを使って、現在のディスク メニューのデザインおよび動作をプレビューします。

ディスク中のシーン/チャプターを表示するには、 ボタンおよび他のメニュー ナビゲーション コントロールを使って、ディスク メニューをナビゲートします。[プレビュー] ボタンをクリックして、書き込み後の状態をプレビューします。

注:ディスクをプレビューする前に  をクリックして、プレビュー画質 (フル HD*、HD*、高、標準、低) を選択し、プレビュー動画の解像度/画質を設定します。画質を高くすると、ディスクをプレビューするためにより多くのリソースが必要になります。

ディスクメニューのテキストを編集する

メニュー ページに表示されるテキスト (ボタン テキスト リンクも含む) を編集するには、そのテキストをダブルクリックします。ディスク メニュー ウィンドウ上のディスク メニュー フォント プロパティのオプションを使って、メニュー テキスト スタイル、サイズ、配列を変更します。

メニュー テキスト/ボタンの位置を変更するには、テキストをクリックして希望する位置にドラッグします。

注: テキスト/ボタンの位置を変更するには、 をクリックして [TV セーフゾーン] を有効にします。通常のテレビ画面の表示範囲が四角で示されます。

ディスクメニューを設定する

[メニューの基本設定] タブ下では、次のようにディスク メニューを設定します。

- ルート メニューを含める: ルート メニューまたはホーム ページをディスクに含める場合、このオプションを選択します。このオプションを選択解除すると、ディスクを再生時にシーン ページが表示されます (デフォルト)。
- メニュー オープニングビデオを含める: メニュー オープニング ビデオを含める場合、このオプションを選択します。このオプションは [最初に再生する動画] と異なります。
- サムネイル インデックスを表示する: メニュー ページ中のシーンとチャプター サムネイルに番号を付ける場合、このオプションを選択します。
- モーション サムネイルを有効にする: ビデオ タイトル サムネイルのモーション プレビューを有効にする場合、このオプションを選択します。

ディスクメニューのBGMを設定する

メニュー テンプレートには音楽が含まれるテンプレートもあります。次の手順で音楽を編集したり、追加することもできます。

-  をクリックして、現在の BGM を置き換えます。[ハード ドライブから読み込み] をクリックしてコンピューター中の音声ファイルを選択したり、[BGM ライブラリーから読み込み] をクリックして Power2Go に搭載される音楽を選択することができます。
- ディスク メニューから現在の BGM を削除するには、 をクリックします。

-  をクリックして元の音楽/追加された音楽を編集します。[メニュー BGM の編集] ウィンドウで次のように設定します。

-  ボタンをクリックして、他の音楽ファイルを追加します。[ハードドライブから読み込み] をクリックしてコンピューター中の音声ファイルを選択したり、[BGM ライブラリーから読み込み] をクリックして Power2Go に搭載される音楽を選択することができます。
- 再生コントロールで音声ファイルをトリミングし、トリミング バーのスライダーを動かして開始位置および終了位置を設定します。



- 音量スライダーを使って、メニュー表示時の BGM の音量を調整します。



- メニューの BGM をフェードインする場合は [フェードイン] を、フェードアウトする場合は [フェードアウト] を選択します。
- メニュー音楽のファイルの所要時間が指定する所要時間と異なる場合、[オート リピート] オプションを選択すると、音楽は繰り返し再生されます。
- ディスク メニューのすべてのページにこの音楽を設定するには [すべてのページに適用] を、編集中のディスク メニューにのみ適用するには [適用] をクリックします。

最初に再生する動画を追加する

このオプションを使って、作成ディスクに最初に再生する動画を追加します。ディスクをディスクプレーヤーに挿入すると、ディスクメニューが表示される前に、この最初の動画が自動的に再生されます。この場合、再生中にナビゲーションボタンは利用できません（スキップや早送りすることはできません）。市販ディスクでは通常、この部分は著作権情報や警告メッセージが表示されます。個人的な作品の場合には、他のビデオクリップを利用することができます。

最初の再生クリップを設定するには、次の操作を行います。

-  をクリックして、使用する動画を選択します。
-  をクリックして、指定された動画を削除します。
-  をクリックして、動画を編集します。[最初に再生する動画を編集]で次のように設定します。
 -  ボタンをクリックして、動画を変更します。

- 再生コントロールを使ってトリミングの開始位置を見つけ、 をクリックして開始位置を設定するか、開始位置スライダーをこの位置にドラッグします。



- 再生コントロールを使ってトリミングの終了位置を見つけ、 をクリックして開始位置を設定するか、開始位置スライダーをこの位置にドラッグします。



注:  をクリックして、トリミングを行う動画の表示時間をロックすることができます。ロックしたら、選択したコンテンツをクリックして、トリミングを行う位置までドラッグします。

- 音量スライダーを使って、最初に再生する動画の音量を調整します。



- [適用] をクリックして、変更内容を保存します。

ディスク再生モードを設定する



ボタンをクリックして、使用する再生モードを 1 つ選択します。

[再生モードの設定] ウィンドウは、次のように設定します。

- 使用する再生モードを 1 つ選択します。ディスクをディスク プレーヤーに挿入した場合、または [再生] を押した場合に、選択したモードで再生されます。
- ディスクのコンテンツを自動的に再生する場合は、[自動メニュー タイムアウト] を選択します。このオプションを選択すると、指定する時間ディスク メニューを表示し、その後ディスク コンテンツを自動的に再生します。このオプションを選択しない場合、ディスク プレーヤーの [再生] ボタンを押すまで繰り返しメニューが表示されます。

ディスクの基本設定を編集する

ディスクに書き込む前に、[ディスクの基本設定] タブをクリックして、ディスクの基本設定 (動画ファイル形式、音声形式など) を設定します。

[ディスクの基本設定] タブで、次のオプションを設定します。

ディスク形式

- ディスクの形式は、新規タスク ページ ([DVD-Video ディスク]、[ブルーレイ ディスク]、[AVCHD]) で選択したオプションの内容によって決まります。選択したディスク形式に合わせて、ディスク容量またはリムーバブル ディスクの書き込みオプションが異なります。例えば AVCHD の場合、リムーバブル ディスク、SD/SDHC/SDXC カード、メモリー スティックに書き込みができます。

動画/音声の設定

- **動画録画形式の選択**: ディスクの動画録画形式および縦横比を選択します。
- **動画エンコード形式および画質の選択**: ディスクの動画エンコード形式および画質を選択します。[スマート フィット] オプションは、使用するディスクの容量に合わせて、ビットレートを最高画質に自動調整します。
- **音声エンコード形式およびチャンネルの選択**: ディスクの音声形式および出力チャンネル数を選択します。

注: 表示される動画/音声形式オプションは、選択したディスク形式により異なります。

- テレビ信号方式:動画用のテレビ信号方式 (NTSC または PAL) を選択します。この方式は、動画を再生する地域の形式と一致させる必要があります。

ディスクに動画を書き込む

ディスク作成プロセスの最後に、ディスクを書き込みます。ディスクの書き込みが完了すると、ディスク プレーヤーで再生できるようになります。

*注:ディスクに書き込む前に、メニューの **[書き込み]** > **[設定]** (またはキーボードの **Ctrl + I**) を選択して、動画の設定を行います。詳細は、[「動画の設定を行う」](#) を参照してください。*

動画をディスクに書き込むには、次の操作を行います。

1. [ディスク作成] ウィンドウの **[書き込み]** ボタンをクリックします。
2. 次の設定を行います。
 - 現在のドライブ:書き込みドライブ (または AVCHD 形式向けのリムーバブルディスク) を選択して、プロジェクトをディスクに書き込みます。  ボタンをクリックして、他のドライブを選択したり、書き込み設定を行います。詳細は、[「書き込み設定を行う」](#) を参照してください。再書き込み可能なディスクに書き込んだ場合は、  をクリックして消去します。詳細は、[「ディスクを消去する」](#) を参照してください。
 - ディスク ボリューム ラベル:ディスク ラベル名を入力します。ディスク ラベルは、最大 16 文字まで入力することができます。
 - ディスクへ書き込み:ディスクに書き込む場合は、このオプションを選択します。
 - コピー枚数:書き込みを行うディスクの枚数を入力します。
 - フォルダーの作成:コンピューターにディスク フォルダーを作成する場合に、このオプションを選択します。フォルダーには書き込みに必要なすべてのファイルが含まれます。  をクリックして、フォルダーの作成先を指定します。フォルダーを作成すると、ディレクトリー内の既存データはすべて上書きされます。
 - ディスク マネージャー タグ:このボタンをクリックしてディスクのキーワード検索タグを追加します。その後、[ディスク マネージャー] ライブラリーからディスクを検索することができます。詳細は、[「ディスク マネージャーを使用する」](#) を参照してください。
 - x.v.Color を有効にする:x.v.Color は、普通より広い色範囲が表示できるカラーシステムです。再生環境が x.v.color に対応している場合に、RGB ディスプレイと下位互換性のある x.v.color に準拠した高画質のストリームが作成できます。

- ハードウェアビデオエンコーダーを有効にする:レンダリングおよび書き込み時間を速める場合に、このオプションを有効にします。このオプションは、ハードウェア アクセラレーション (CUDA 対応の NVIDIA グラフィック カード、AMD Accelerated Parallel Processing 対応の AMD グラフィック カード、Intel Core プロセッサ ファミリー対応のコンピューター) を搭載の場合にのみ使えます。

3. [書き込み開始] をクリックして、書き込み処理を開始します。

注:書き込み処理には数分かかります。処理時間は、動画の長さおよび画質、コンピューターの処理能力によって異なります。ビデオディスクのレンダリングが完了するまで、しばらくお待ちください。書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

書き込み設定を行う

初めてディスクに書き込む場合、 をクリックして書き込みの設定を行います。

- 記録ドライブ:ディスク書き込み用のドライブを選択します。
- 記録速度:ディスクへの書き込み速度を設定します。書き込み処理中にエラーが発生した場合は、書き込み速度を下げてみてください。
- バッファアンダーラン保護を含める:このオプションを選択すると、中断することなく動画がディスクに書き込まれます。動画の書き込みが中断されるとディスクは使用できなくなります。

この設定は、設定内容が変更されるまで、書き込みの際に毎回使用されます。

ディスクの消去

再書き込み可能ディスクは、コンテンツを消去し、書き換えることができます。これにより、新しいディスクを買わずに、同じディスクを繰り返し使うことができます。 ボタンをクリックすると、ディスクのコンテンツが消去されます。

ディスクの消去時には、次を選択します。

- [高速消去] オプションを選択すると、ディスクに含まれるディスク インデックスのみが消去されます。
- [完全消去] オプションを選択すると、ディスクの内容がすべて消去されます。

DVD/ブルーレイ ディスク フォルダーの書き込みを行う

[DVD フォルダーの書き込み] および [ブルーレイ ディスク フォルダーの書き込み] 機能を使うと、作成したディスク フォルダーを DVD またはブルーレイ ディスクに書き込むことができます。

DVD/ブルーレイ ディスク フォルダーの書き込みを行うには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ビデオ ディスク] オプションをクリックします。[DVD フォルダーの書き込み] または [ブルーレイ ディスク フォルダーの書き込み] 良オプションを選択して、[DVD/ブルーレイ ディスク フォルダーの書き込み] ウィンドウを開きます。
2.  をクリックして、ディスクに書き込む DVD/ブルーレイ ディスク フォルダーをコンピューターから選択します。
3. [ディスク名] を入力します。
4. ディスクを挿入して、ドロップダウン リストからドライブを選択します。
5. [書き込み速度] および [コピー枚数] を設定します。
6. [書き込みテストを行う] を選択すると、書き込み前に 書き込みテスト が行われます。
7. [書き込み] をクリックして、書き込み処理を開始します。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスク ラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

*注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

第 6 章:

ミュージック ディスク

[ミュージック ディスク] オプションでは、音楽ファイルから MP3 または WMA CD/DVD を作成することができます。一般の CD プレーヤーで再生可能なオーディオ CD を作成することもできます。CUE ファイル（および関連する音声ファイル）を読み込んで、CUE オーディオ ディスクを作成することもできます。

注:読み込み可能な音声ファイルの形式は、[「対応するファイル形式」](#)を参照してください。

オーディオ CD または MP3/WMA ミュージック ディスクを書き込む

オーディオ ミュージック CD または MP3/WMA ミュージック ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ミュージック ディスク] オプションをクリックし、作成するミュージック ディスクのタイプ ([オーディオ CD]、[WMA CD]、[MP3 CD]、[WMA DVD]、[MP3 DVD]) を選択します。[ミュージック ディスク] ウィンドウが開きます。
2. 検索ペイン ([「検索ペインを使用する」](#)を参照) を使って、ディスクに入れる音楽を検索します。

注:ミュージック ディスクを作成前にPower2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーに音楽ファイルを入れると、検索ペインの [メディア] タブに表示され、検索フィールドから検索可能になります。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#)を参照してください。

3. 書き込みを行うファイルを選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックして音楽ファイルを追加したり、他のボタンをクリックしてディスク中の音楽の順番を変更したり、プレビューすることもできます。ビデオ クリップから音声を抽出してミュージック ディスクに入れるには、ビデオ クリップをディスクに追加します。

4. 音楽ファイルを編集したりエフェクトを追加するには  ボタンをクリックして、CyberLink WaveEditor* を起動します。音声の編集に関する詳細は、CyberLink WaveEditor のヘルプ ファイルを参照してください。音声ファイルの編集が完了したら、更新されたファイルはコンテンツ エリアに再び配置されます。
5. [編集] ボタンをクリックして、ディスクの音声を設定したり、CD-TEXT を追加したりすることができます。オーディオ CD 作成に関する詳細は、[「オーディオ CD の基](#)

[本設定](#)」を参照してください。MP3/WMA ミュージック ディスク作成に関する詳細は、[「MP3/WMA ディスクの基本設定」](#)を参照してください。

6. ディスクに入れるコンテンツをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
7. [「全般の設定」](#)のオプションおよび[「書き込みオプション」](#)からも調整できます。
8. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

9. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスクラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

オーディオ CD の基本設定

オーディオ CD を作成時に [編集] ボタンをクリックすると、次の基本設定にアクセスできます。

- CD-TEXT を有効にする: ミュージック ディスクに関する情報を追加する場合に、このオプションを選択します。各欄にディスクの情報を入力します。
- CD の全トラックのボリュームを正規化する: CD 上の音声トラックのボリュームをすべて同レベルに調整します。
- トラック間に音声ギャップを挿入: トラック間に追加する無音部分の長さ (秒) を入力します。

設定が完了したら、[OK] をクリックしてオーディオ CD への変更内容を保存します。

MP3/WMA ディスクの基本設定

MP3 または WMA ディスクを作成時に [編集] ボタンをクリックすると、次の基本設定にアクセスできます。

- 品質:書き込み先の MP3/WMA の音質をドロップダウンから選択します。
- Windows Media Player のプレイリストを自動的に生成する:Windows Media Player の音楽プレイリストをディスクに書き込む場合に、このオプションを選択します。
- CD の全トラックのボリュームを正規化する:MP3/WMA の CD ディスクを作成する場合、CD 上の音声トラックのボリュームをすべて同レベルに調整します。
- 再生順の接頭辞 (数字) を追加:ミュージック ディスクに接頭辞 (数字) を追加する場合、このオプションを選択します。コンテンツ エリアにこの順で表示されます。

設定が完了したら、[OK] をクリックして MP3/WMA ディスクへの変更内容を保存します。

CUE オーディオ ディスクを書き込む

[ミュージック ディスク] オプションでは、CUE ファイル (および関連する音声) を読み込んで、CUE オーディオ ディスクを作成、書き込むことができます。CUE ファイルは、関連する音声ファイルと他の情報のトラック順をリストしたメタデータ ファイルです。CUE オーディオ ディスク ウィンドウに読み込むと、すべての音声情報 (アルバム、アーティスト名、トラック情報など) が自動的に読み込まれます (CUE ファイルにそれらの情報が入っている場合)。

CUE オーディオ ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ミュージック ディスク] オプションの [CUE オーディオ ディスク] を選択します。[CUE オーディオ ディスク] ウィンドウが開きます。
2.  をクリックして、CUE ファイルを読み込みます。CUE ファイルの場所を検索・選択して、[開く] をクリックして読み込みます。

注:CUE ファイルの関連する音声ファイルは、同じフォルダー (CUE ファイル、同じファイル名) に入っているはずですが、関連する音声ファイルは、FLAC または APE 音声ファイル形式のどちらかです。

3. ディスクを挿入して、ドロップダウン リストからドライブを選択します。
4. 書き込みディスクの [書き込み速度] を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。

5. [コピー枚数] に書き込みを行う枚数を入力します。
6. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます（可能な場合）。
 - [書き込みテストを行う] を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
 - [書き込みデータを確認する] を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認できます。
 - [不具合管理を有効にする] を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。
7. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] ボタンをクリックします。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター（ログの表示および保存が可能）に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します（コンピューターにプログラムがインストールされている場合）。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注:CyberLink LabelPrint でディスクラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスクラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

*注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

第 7 章:

フォト ギャラリー ディスク

[フォト ギャラリー ディスク]* オプションでは、画像を使ってスライドショーを作成することができます。スライドショーは、スタンドアロンのフォト ショーケース アプリケーションとして CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込まれます。

*注*読み込み可能な画像ファイルの形式は、[「対応するファイル形式」](#)を参照してください。

フォト ギャラリーは、ビューアーがインストールされているコンピューターで実行することができます。ディスクに画像の説明や外部の URL を追記することもできます。

*注**この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

フォト ギャラリー ディスクを作成、書き込む

[フォト ギャラリー ディスク] オプションでは、フォト アルバムのディスクを作成することができます。1 枚のフォト ギャラリー ディスクには、2 つ以上のアルバムを入れることができます。

フォト ギャラリー ディスクを作成、書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [フォト ギャラリー ディスク] オプションをクリックし、作成するディスクのタイプ ([CD]、[DVD]、[ブルーレイ ディスク]) を選択します。[フォト ギャラリー ディスク] ウィンドウが開きます。
2. [ディスクの内容] ペインで、ディスクに表示されるフォト アルバムの名前を入力します。
3. 検索ペイン ([「検索ペインを使用する」](#)を参照) を使って、ディスクに入れる画像を検索します。
4. 書き込みを行う画像を選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。 ボタンをクリックすると、サムネイル ビューになり、画像が検索しやすくなります。

注  ボタンをクリックして、画像を追加することもできます。画像を追加する前に、[ディスクの内容] ペインで特定のアルバムを選択してください。

5. アルバムに他の画像を追加するには、前の 2 つの手順を繰り返します。 ボタンをクリックして、ディスクに新しいアルバムを作成することもできます。

6. [編集] ボタンをクリックして、ギャラリーのタイトル、背景画像などを設定します。詳細は、[「フォト ギャラリー ディスクの基本設定」](#)を参照してください。
7. ディスクに入れる画像をすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
8. [「全般の設定」](#)のオプションおよび[「書き込みオプション」](#)からも調整できます。
9. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

10. 書き込みが完了したら、ウィンドウ ボックスに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスクラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

フォト ギャラリー ディスクの基本設定

フォト ギャラリー ディスクを作成時に [編集] ボタンをクリックすると、次の基本設定にアクセスできます。

- **ギャラリー タイトル:** フォト ギャラリーのタイトルを入力します。タイトルは、書き込み後にディスク上に表示されます。
- **カスタム ログ:** [カスタム ログ] ボタンをクリックして、フォト ギャラリーで使うログを次のようにカスタマイズします。
 - フォト ギャラリーにロゴを追加しない: 作成するフォト ギャラリーにロゴを追加しない場合に、このオプションを選択します。

- フォト ギャラリーにロゴを追加する: 作成するフォト ギャラリーにロゴを追加する場合に、このオプションを選択します。 ボタンをクリックして、ロゴとして使用する画像を選択します (CyberLink のロゴと置き換えられます)。
- ロゴに URL リンクを追加する: ロゴに URL リンクを追加する場合に、このオプションを選択します。選択したら、URL のアドレスを入力します (https://)。フォト ギャラリーのロゴをクリックすると、指定した URL に移動します。

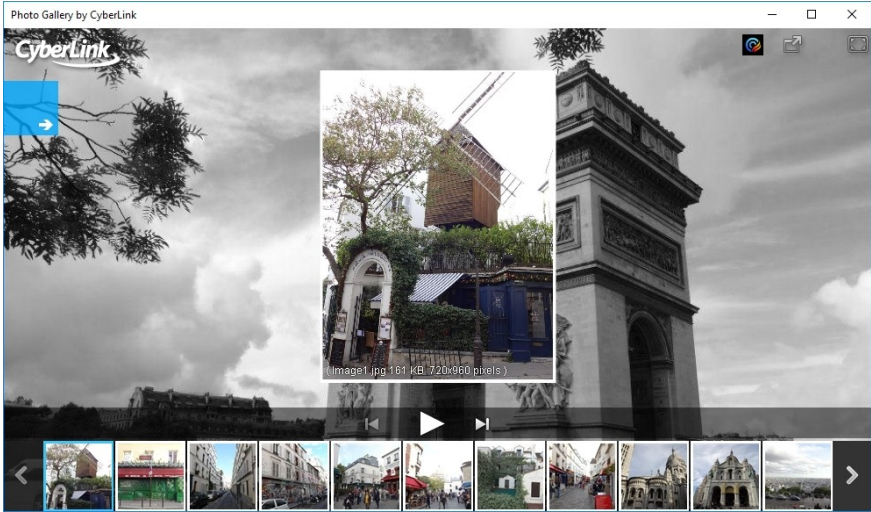
[OK] をクリックして、変更内容を保存します。

- **スライドショー速度**:スライドショーの各スライドの表示時間 (秒) を入力します。
- **背景画像**:**[変更]** ボタンをクリックして、フォト ギャラリーの背景に使われる画像を設定します。デフォルトの画像にギャラリー ディスクに合ったものがない場合、**[参照]** ボタンをクリックして、自分のカスタム画像を使用します。
- **EXIF 情報を表示する**:フォト ギャラリー ディスクに画像の詳細を表示するには、このオプションを選択します (EXIF 対応のデジタル カメラで撮影した場合)。
- **BGM を追加する**:フォト ギャラリー ディスクに BGM を追加するには、このオプションを選択し、**[参照]** をクリックして使用する音楽ファイルを選択します。**[ハードドライブから読み込み]** をクリックしてコンピューター中の音声ファイルを選択したり、**[BGM ライブラリーから読み込み]** をクリックして Power2Go に搭載される音楽を選択することができます。
- **エディターズ ノートを含める**:フォト ギャラリー ディスクにメモや説明を入れるには、このオプションを選択し、**[編集]** をクリックして、**[タイトル]** および **[コンテンツ]** を入力します。
- **外部 URL を含める**:フォト ギャラリー ディスクに Web サイトのリンクを入れるには、このオプションを選択し、**[編集]** をクリックして、Web サイトの **[名前]** および URL (**https://**) を入力します。
- **フォト ギャラリーの完成内容を表示するには**、**[プレビュー]** ボタンをクリックします。**[書き出し]** をクリックすると、ハードドライブにスタンドアロンのフォト ギャラリー アプリケーション (フォルダー) が作成されます。

設定が完了したら、**[OK]** をクリックしてフォト ギャラリー ディスクへの変更内容を保存します。

フォト ギャラリー ディスクを表示する

完成したフォト ギャラリー ディスクを、コンピューターのディスクドライブに挿入します。フォト ギャラリー ビューアーが起動し、自動的にディスクが再生されます。



ディスクが自動的に再生されない場合、またはドライブにアプリケーションを書き出した場合は、ディスク/ハードドライブの CL_Gallery.exe をダブルクリックして、フォト ギャラリーを再生します。

第 8 章:

オンライン メディア バックアップ

[オンライン メディア バックアップ]*オプションを使うと、YouTube の動画をコンピューターのハードドライブにダウンロードすることができます。このメディアを直接 CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込んで、バックアップすることもできます。

*注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

オンライン メディアをディスクにバックアップする

オンライン メディアをディスクにバックアップするには、次の操作を行います。

1. 新規タスクウィンドウの [オンライン メディア バックアップ] オプションをクリックし、使用するディスクのタイプ ([CD にバックアップ]、[DVD にバックアップ]、[ブルーレイ ディスクにバックアップ]) を選択します。[オンライン メディア バックアップ] ウィンドウが開きます。
2. 検索ペインで、YouTube の動画を参照して、バックアップする動画を検索します。動画をダブルクリックすると、デフォルトの Web ブラウザーで表示されます。

注:ウィンドウ右上の検索フィールドにキーワードを入力して、YouTube の特定の動画を検索することもできます。

3. バックアップする YouTube 動画を選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックしてメディアを追加したり、 ボタンをクリックしてディスクにフォルダーを作成することもできます。

4. コンテンツ エリアのサムネイルを右クリックして [形式 & 解像度] を選択し、ディスクに書き込むファイルの解像度を選択します。

注:  ボタンをクリックするとリスト ビューになり、コンテンツ エリアに解像度、ファイル形式などが表示されます。動画の解像度と形式は、バックアップする動画の元の画質と形式によって異なります。

5. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
6. [全般の設定] のオプションおよび [書き込みオプション] からも調整できます。

7. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャーで識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスクラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

オンライン メディアをハードドライブにダウンロードする

オンライン メディアをコンピューターのハードドライブにダウンロードするには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [オンライン メディア バックアップ] オプションの [HDD にダウンロード] を選択します。[オンライン メディア バックアップ] ウィンドウが開きます。
2. 検索ペインで、YouTube の動画を参照して、ダウンロードする動画を検索します。動画をダブルクリックすると、デフォルトの Web ブラウザーで表示されます。

注: ウィンドウ右上の検索フィールドにキーワードを入力して、YouTube の特定の動画を検索することもできます。

3. ダウンロードする YouTube 動画を選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックして選択したメディアを追加したり、 ボタンをクリックしてコンピューターのハードドライブのダウンロード フォルダーに新しいフォルダーを作成したりすることもできます。

4. コンテンツ エリアのサムネイルを右クリックして [形式 & 解像度] を選択し、ダウンロードするファイルの解像度を選択します。

注:  ボタンをクリックするとリスト ビューになり、コンテンツ エリアに解像度、ファイル形式などが表示されます。動画の解像度と形式は、バックアップする動画の元の画質と形式によって異なります。

5. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
6. [「全般の設定」](#)のオプションおよび[「書き込みオプション」](#)からも調整できます。
7. ダウンロードの準備ができたなら、[ダウンロード] をクリックします。
8. ダウンロードが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - [完了] をクリックして、ウィンドウを閉じます。
 - [フォルダーを開く] をクリックして、メディア ファイルがダウンロードされたハードドライブのフォルダーを開きます。

第 9 章:

ディスク コピー

[ディスク コピー] では、ディスクのコピーを行うことができます。ただし、コピー元のディスク タイプと同じブランク ディスクを使用する必要があります。例えば、CD のコンテンツを DVD にコピーすることはできません。[ディスク コピー] では、ディスク イメージの保存 または書き込みを行うこともできます。

注: コピー保護がされていたり、エラーが含まれるディスクは、内容がコピーできない可能性があります。

ディスクをコピーする

ディスク中のすべてのコンテンツをコピーして別のディスクに書き込むことができます。この機能は、Power2Go フル プログラム モードおよびデスクトップ書き込みガジェットのうちどちらでも実行することができます。ただし、[ディスク コピー] ウィンドウを開く最初の手順は多少異なります。

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. [ディスク コピー] ウィンドウは、次のように開きます。
 - Power2Go フル プログラム モードでは、新規タスク ウィンドウの [ディスク コピー] オプションを選択して、[ディスク コピー] を選択します。
 - デスクトップ書き込みガジェットでは、 ボタンをクリックして [ディスク コピー] ガジェットを表示し、 をクリックして [ディスク コピー] ウィンドウを表示します。
2. [読み取り元] および [書き込み先] のドロップダウンから、読み取りドライブおよび書き込みドライブを選択します。
3. 各ディスクの [読み取り速度] および [書き込み速度] を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。
4. [読み取りエラーを無視する] を選択すると、エラーが発生してもディスクのコピーが続行します。
5. [ハード ディスクにコピーする] オプションを選択すると、コンピューターのハードドライブにもディスクのコピーが保存されます (可能な場合)。
6. [ディスク全体をコピーする] を選択すると、ディスク全体のコンテンツが出力先のディスクにコピーされます。

7. [コピー枚数] に書き込みを行う枚数を入力します。
8. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます（可能な場合）。
 - [書き込みテストを行う] を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
 - [書き込みデータを確認する] を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認できます。
 - [不具合管理を有効にする] を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。
9. 書き込むディスクを暗号化する場合、[ディスクコピーを暗号化] を選択します。選択したら、次の操作を行います。
 - セキュリティーレベルの選択:[セキュリティ保護 (128 ビット)] または [高度なセキュリティ保護 (256 ビット)] から選択します。
 - セキュリティー保護付きデータ ディスクの [パスワード] を入力します。[パスワードの確認] でもう一度パスワードを入力します。パスワードを忘れた場合用に、[パスワード リマインダー] を入力します。
 - ディスク内のファイル名を暗号化する場合は、[セキュリティ保護付きディスクのファイル名を非表示にする] を選択します。
 - [OK] をクリックして、変更内容を保存します。
10. [コピー] をクリックすると、コピーおよび書き込み処理を開始します。
11. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター（ログの表示および保存が可能）に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します（コンピューターにプログラムがインストールされている場合）。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスクラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスクラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

ディスク イメージを保存する

[ディスク イメージの保存] は、ディスクのバックアップをコンピューターのハードドライブに取る場合に役立ちます。

ディスク イメージを保存するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ディスク コピー] オプションの [ディスク イメージの保存] を選択します。
2. ディスクをディスク ドライブに挿入します。[読み取り元] ドロップダウンから読み取りドライブを選択します。
3. [読み取りエラーを無視する] を選択すると、エラーが発生してもディスクのコピーが続行します。
4. [ディスク全体をコピーする] を選択すると、イメージ ファイルのディスク全体のコンテンツが保存されます。
5.  をクリックして、イメージを保存するフォルダーを指定し、イメージ ファイル名を入力します。
6. [保存の種類] ドロップダウンから、イメージ ファイルの形式 (P2I または ISO) を選択します。
7. [保存] をクリックして、ディスク イメージを保存します。
8. 保存が完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - [ログの表示] をクリックして、ログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

ディスク イメージを書き込む

ディスク イメージは、ディスクのコンテンツおよびファイルの構造を複製したコンピューター内のファイルです。CyberLink Power2Go を使うと、ディスク イメージ (ISO、P2I、RDF 形式) をディスクに書き込むことができます。

注:CyberLink ISO ビューアーを使って、イメージ ファイルのコンテンツを表示することができます。
詳細は、[「CyberLink ISO ビューアーを使用する」](#)を参照してください。

ディスク イメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ディスクコピー] オプションの [ディスクイメージの書き込み] を選択します。
2.  をクリックして、読み取り元のディスク イメージを選択します。
3. ディスクを挿入して、[書き込み先] のドロップダウンからドライブを選択します。
4. ディスクの [書き込み速度] を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。
5. [コピー枚数] に書き込みを行う枚数を入力します。
6. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます（可能な場合）。
 - [書き込みテストを行う] を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
 - [書き込みデータを確認する] を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認できます。
 - [不具合管理を有効にする] を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。
7. [書き込み] をクリックして、書き込み処理を開始します。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[書き込み後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター（ログの表示および保存が可能）に、ログが表示されます。
 - [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します（コンピューターにプログラムがインストールされている場合）。
 - [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット 編集に関する詳細は、「ディスクラベルのスナップショット」を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

第 10 章:

メディア コンバーター

[メディア コンバーター] では、動画/音声ファイルの形式をモバイル デバイスに合わせて変換することができます。CD の音声を取り込んで、デバイスに転送することもできます。ここでは、音声をハードドライブに取り込んで、ファイルをコンピューター向けに変換することもできます。

注:読み込み/書き出し可能なファイル形式は、[「対応するファイル形式」](#)を参照してください。

モバイル デバイス向けに動画を変換する

動画ファイルを変換してモバイル デバイス* に転送するには、次の操作を行います。

注:* この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

1. 新規タスク ウィンドウの [メディア コンバーター] オプションの [動画をモバイル デバイスへ] を選択します。[動画をモバイル デバイスへ] ウィンドウが開きます。
2. 検索ペイン ([「検索ペインを使用する」](#)を参照) を使って、変換する動画ファイルを検索します。

注:変換を行う前にPower2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーに動画ファイルを入れると、検索フィールドにキーワードを入れることで検索可能になります。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#)を参照してください。

3. 変換するファイルを選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックして、動画ファイルを追加することもできます。

4.  ボタンをクリックして、ビデオ エンハンスメント (画質補正) を適用します。
 - **CyberLink TrueTheater AutoLight:** 動画の明るさやコントラストを調整します。
 - **CyberLink TrueTheater Denoise:** 動画中のノイズを調整します。
 - **CyberLink TrueTheater HD:** 元の動画をよりシャープに、ノイズを減らして高解像度で再生します。
 - **CyberLink TrueTheater Color:** 動画の彩度を調整します。

[OK] をクリックして、[ビデオ エンハンスメント (画質補正)] ウィンドウを閉じます。

5. 変換する動画ファイルをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
6. モバイル デバイスをコンピューターに接続します。デバイスが自動的に検出されます。検出されない場合、[自動検出] ボタンをクリックするか、手でデバイスのブランドとモデルを選択します。
7. 動画ファイルの変換に使う [メディア形式プロファイル (プリセット)] を選択します。[スマート検出] を選択すると、元の映像とデバイスに基づいて自動的に解像度が設定されます。カスタムのプロファイルを作成するには、[カスタム] を選択して次のように設定します。

注: デバイスのブランドとモデルを選択した場合、スマート検出とカスタムのオプションのみが表示されます。

- **動画形式:** 動画のファイル形式を選択します。
- **解像度:** 変換する動画の解像度を選択します。
- **音声形式:** 変換する動画の音声形式を選択します。

完了したら [OK] をクリックして、カスタム プロファイルを使用します。

8.  ボタンをクリックして、フォルダー（変換された動画がモバイル デバイ스에 転送される前に保存されるフォルダー）を変更します。
9. 変換設定を次のように設定します。
 - **変換後、接続されたモバイル デバイスに転送する:** ファイルを変換後に接続されるモバイル デバイスに転送する場合、このオプションを選択します。

注: Apple デバイス向けにメディアを変換するには、[変換したファイルを iTunes のライブラリーに追加] のオプションを使います。

- **ハードウェアビデオエンコーダー:** 変換プロセス中にハードウェアビデオエンコーダーを使って動画のエンコーディングを高速化するには、このオプションを選択します。このオプションは、コンピューターが Intel Quick Sync Video、NVIDIA CUDA、AMD Accelerated Parallel Processing 対応の場合にのみ表示されます。
10. [ビデオ エンハンスメント (画質補正)] で画質の調整を行います。
 - **CyberLink TrueTheater AutoLight:** 動画の明るさやコントラストを調整します。
 - **CyberLink TrueTheater Denoise:** 動画中のノイズを調整します。

- **CyberLink TrueTheater HD:**元の動画をよりシャープに、ノイズを減らして高解像度で再生します。
- **CyberLink TrueTheater Color:**動画の彩度を調整します。

11. 変換の準備ができたなら、[変換] をクリックします。

注: ファイルを変換、転送後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[変換後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

- 変換が完了したら [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

モバイル デバイス向けに音声を変換する

音声ファイルを変換してモバイル デバイス* に転送するには、次の操作を行います。

*注: * この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

1. 新規タスク ウィンドウの [メディア コンバーター] オプションの [音声 をモバイル デバイスへ] を選択します。[音声 をモバイル デバイスへ] ウィンドウが開きます。
2. 検索ペイン ([「検索ペインを使用する」](#) を参照) を使って、変換する音声ファイルを検索します。

注: 変換を行う前に Power2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーに音楽ファイルを入れると、検索ペインの [メディア] タブに表示され、検索フィールドから検索可能になります。詳細は、[「ライブラリーの基本設定」](#) を参照してください。

3. 変換するファイルを選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。

注:  ボタンをクリックして音声ファイルを追加したり、他のボタンをクリックして音声の順番を変更したり、プレビューすることもできます。ビデオ クリップから音声を抽出してモバイル デバイスに入れるには、ビデオ クリップをコンテンツ エリアに追加します。

4. 音声ファイルを編集したりエフェクトを追加するには  ボタンをクリックして、CyberLink WaveEditor* を起動します。音声の編集に関する詳細は、CyberLink WaveEditor のヘルプ ファイルを参照してください。音声ファイルの編集が完了したら、更新されたファイルはコンテンツ エリアに再び配置されます。
5. 変換する音声ファイルをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。
6. モバイル デバイスをコンピューターに接続します。デバイスが自動的に検出されます。検出されない場合、[自動検出] ボタンをクリックするか、手動でデバイスのブランドとモデルを選択します。

7. 音声ファイルの変換に使うメディア形式のプロファイルを選択します。カスタムのプロファイルを作成するには、[カスタム] を選択して次のように設定します。

注: デバイスのブランドとモデルを選択した場合、カスタムのオプションのみが表示されます。

- 形式: 音声ファイルの形式を選択します。
- サンプリングレート: 音質を定義するサンプリング レートを選択します。
- ビットレート: 音質を定義する音声圧縮率を選択します。

完了したら [OK] をクリックして、カスタム プロファイルを使用します。

8.  ボタンをクリックして、フォルダー（変換された音声ファイルがモバイル デバイスに転送される前に保存されるフォルダー）を変更します。
9. 変換設定を次のように設定します。
 - 変換後、接続されたモバイル デバイスに転送する: ファイルを変換後に接続されるモバイル デバイスに転送する場合、このオプションを選択します。

注: Apple デバイス向けにメディアを変換するには、[変換したファイルを iTunes のライブラリーに追加] のオプションを使います。

10. 変換の準備ができたなら、[変換] をクリックします。

注: ファイルを変換、転送後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[変換後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

- 変換が完了したら [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

モバイル デバイス向けに音声を取り込み、変換する

音声を取り込み、変換してモバイル デバイス* に転送するには、次の操作を行います。

*注: * この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

1. 新規タスク ウィンドウの [メディア コンバーター] オプションの [オーディオ CD をモバイル デバイスへ] を選択します。[音声をモバイル デバイスへ] ウィンドウが開きます。

2. ディスクを挿入して、[出力元の選択] ドロップダウンからドライブを選択します。
3. 取り込み、変換を行わないオーディオトラックを選択解除します。
4. オーディオトラック横の  をクリックして、情報を次のように修正します。
 - タイトル:オーディオトラックのタイトルを入力します。
 - アーティスト:アーティストの情報を入力します。
 - アルバム名:アルバムの名前を入力します。
 - ジャンル:取り込みを行う音声のジャンルを入力します。
 - タグ(タイトルとアーティスト以外)をすべてのトラックに適用:アルバム名とジャンルをすべてのトラックに適用する場合、このオプションを選択します。

完了したら **[OK]** をクリックします。

5. 取り込み、変換の準備ができたなら、[次へ] ボタンをクリックします。
6. モバイル デバイスをコンピューターに接続します。デバイスが自動的に検出されます。検出されない場合、[自動検出] ボタンをクリックするか、手動でデバイスのブランドとモデルを選択します。
7. 音声ファイルの変換に使うメディア形式のプロファイルを選択します。カスタムのプロファイルを作成するには、[カスタム] を選択して次のように設定します。

注:デバイスのブランドとモデルを選択した場合、カスタムのオプションのみが表示されます。

- 形式:音声ファイルの形式を選択します。
- サンプリングレート:音質を定義するサンプリング レートを選択します。
- ビットレート:音質を定義する音声圧縮率を選択します。

完了したら **[OK]** をクリックして、カスタム プロファイルを使用します。

8.  ボタンをクリックして、フォルダー（取り込み、変換された音声ファイルがモバイル デバイ스에転送される前に保存されるフォルダー）を変更します。
9. 変換設定を次のように設定します。
 - 変換後、接続されたモバイル デバイ스에転送する:ファイルを変換後に接続されるモバイル デバイ스에転送する場合、このオプションを選択します。

注:Apple デバイス向けにメディアを変換するには、[変換したファイルを iTunes のライブラリーに追加] のオプションを使います。

10. 変換の準備ができたなら、[変換] をクリックします。

注: ファイルを変換、転送後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[変換後、自動的にシャットダウンする] オプションを選択します。

- 変換が完了したら [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

モバイル デバイス用プレーヤー

CyberLink Power2Go から Power Media Player (Android/iOS デバイス向けモバイルメディア プレーヤー) に直接アクセスすることができます。[メディア コンバーター] オプションの [モバイル デバイス用プレーヤー] をクリックします。リンクまたは QR コードから Power Media Player をダウンロード、インストールすると、変換された動画および音声をデバイスで再生できるようになります。

注: Power Media Player の詳細や機能は、アプリ中のヘルプファイルをご覧ください。

音声を取り込む

[音声の取り込み] 機能は、オーディオ CD の音声トラックを APE*、FLAC*、M4A* (AAC)、MP3、OGG*、WAV、WMA 形式でハードドライブにコピーします。

注: この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

音声ファイルをハードドライブに取り込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [メディア コンバーター] オプションの [オーディオ CD の取り込み] を選択します。
2. ディスクを挿入して、[出力元の選択] ドロップダウンからドライブを選択します。

注: 新しいディスクを挿入したり、別のドライブに変更する場合は、 をクリックして、最新情報が表示されていることを確認してください。

3. ハードドライブにコピーする音声トラックを選択します。
4. オーディオトラック横の  をクリックして、情報を次のように修正します。
 - タイトル: オーディオトラックのタイトルを入力します。
 - アーティスト: アーティストの情報を入力します。
 - アルバム名: アルバムの名前を入力します。

- ジャンル取り込みを行う音声のジャンルを入力します。
- タグ(タイトルとアーティスト以外)をすべてのトラックに適用:アルバム名とジャンルをすべてのトラックに適用する場合、このオプションを選択します。

完了したら **[OK]** をクリックします。

5.  ボタンをクリックして、音声トラックの書き込み先フォルダーを指定します。
6. **[設定]** セクションで、出力する音声ファイルの **[形式]** および **[品質]** を設定します。
7. **[実行]** をクリックして、ファイルを取り込んでコンピューターにコピーします。

音声ファイルを変換する

[オーディオ コンバーター] ユーティリティーを使うと、音声ファイルを次の音声形式のいずれかに変換することができます。APE*、FLAC*、M4A* (AAC)、MP3、OGG*、WAV、WMA。音声を他の音質で出力したり、ビデオ クリップから音声を抽出することもできます。

注: この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

音声ファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[メディア コンバーター]** オプションの **[オーディオ コンバーター]** を選択します。
2.  をクリックして、変換元のファイルを選択します。**[開く]** をクリックして、**[オーディオ ファイル コンバーター]** ウィンドウにファイルを追加します。
3.  ボタンをクリックして、変換する音声ファイルの書き込み先を指定します。
4. **[設定]** セクションで、変換するファイルの **[形式]** および **[品質]** を設定します。
5. **[実行]** をクリックして、音声ファイルを変換してコンピューターに保存します。

第 11 章:

ユーティリティ

CyberLink Power2Go はディスクへの書き込み機能に加え、ディスクを管理するユーティリティが搭載されています。ディスク マネージャー（書き込み作業を行ったディスクのライブラリー）を開いたり、再書き込み可能ディスクの消去などを行うことができます。[ユーティリティ] ウィンドウでは、ミックス ディスク、システム リカバリー、仮想ドライブの機能にもアクセスすることができます。

ディスクを消去する

再書き込み可能ディスクの場合、以前に記録された内容を消去することができます。これにより、新しいディスクを買わずに、同じディスクを繰り返し使うことができます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [ディスクの消去] を選択します。
2. ディスクを挿入して、ドロップダウンから [書き込みドライブ] を選択します。
3. 次の消去方法のいずれかを選択します。
 - 高速消去: ディスクのインデックスを消去します。
 - 完全消去: ディスクに含まれるすべてのコンテンツを消去します。
4. [消去] をクリックして、消去処理を開始します。

Power2Go 仮想ドライブ

The Power2Go の仮想ドライブは、ディスク イメージ ファイルをマウントして、コンピュータの実際のディスクドライブと同様にアクセスすることができます。

ディスク イメージをマウントする

Power2Go 仮想ドライブでディスク イメージをマウントするには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [仮想ドライブ] を選択します。[仮想ドライブ] ウィンドウが開きます。
2. [仮想ドライブを有効にする] オプションを選択します。

3. [イメージの場所] の  をクリックして、マウントするイメージの場所を選択します。CyberLink Power2Go は、ISO、P2I (Power2Go イメージ)、RDF の形式に対応しています。
4. [ドライブ名] のドロップダウンから、マウントするディスク イメージのドライブ名を指定します。Windows エクスプローラーでは、指定したドライブ名で表示されます。
5. [OK] をクリックして、ドライブをマウントします。Windows エクスプローラーで表示される他のディスクと同様、ディスク イメージが利用できるようになります。

注: コンピューターを再起動しても、仮想ドライブを無効にするまで、ディスクイメージはドライブとしてマウントされた状態となります。

マウントしたディスク イメージを無効にする

マウントしたディスク イメージを無効にするには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [仮想ドライブ] を選択します。[仮想ドライブ] ウィンドウが開きます。
2. [仮想ドライブを無効にする] オプションを選択します。
3. [OK] をクリックします。

ミックス ディスクを書き込む (CD Extra/ミックス モード CD)

[ユーティリティ] ウィンドウから、ミックス ディスク (CD Extra および ミックス モード CD) を書き込むことができます。ミックス ディスクには、異なる種類のメディア コンテンツ (データ ファイルやオーディオ CD) を同じディスクに書き込むことができます。

[CD Extra] を使うと、データ ファイルを含むオーディオ CD を作成することができます。[ミックス モード CD] を使うと、オーディオ CD 形式の音声ファイルを含むデータ CD を作成することができます。これらのディスクは、再生ソフトウェアで音楽が再生でき、通常のデータ ディスクのようにデータ ファイルを表示することもできます。

CD Extra/ミックス モード CD を書き込む

CD Extra またはミックス モード CD ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [CD Extra] または [ミックス モード CD] を選択します。CD Extra/ミックス モード CD ウィンドウが開きます。

2. [CD Extra] ディスクを作成するには、次の操作を行います。

- 音声ファイルを中段のペインにドラッグ&ドロップします。このペインにフォルダーをドラッグすると、フォルダー中のファイルは追加されますが、ディスクにフォルダーは作成されません。
- データ ファイルおよびフォルダーを下段のペインにドラッグ&ドロップします。このペインにフォルダーをドラッグすると、ディスクにフォルダーが作成されます。

注: 音楽ファイルをデータ ペインに追加すると、データ ファイルとして読み込まれるため、CD プレーヤーで再生することはできません。

3. [ミックス モード CD] を作成するには、次の操作を行います。

- データ ファイルおよびフォルダーを中段のペインにドラッグ&ドロップします。このペインにフォルダーをドラッグすると、ディスクにフォルダーが作成されます。
- 音声ファイルを下段のペインにドラッグ&ドロップします。このペインにフォルダーをドラッグすると、フォルダー中のファイルは追加されますが、ディスクにフォルダーは作成されません。

注:  ボタンをクリックしてファイルを追加したり、他のボタンをクリックしてディスク中の音楽の順番を変更したり、プレビューすることもできます。

4. 音声ファイルを編集したりエフェクトを追加するには、 ボタンをクリックして、CyberLink WaveEditor* を起動します。音声の編集に関する詳細は、CyberLink WaveEditor のヘルプ ファイルを参照してください。音声ファイルの編集が完了したら、更新されたファイルはコンテンツ エリアに再び配置されます。

5. [編集] ボタンをクリックして、CD-TEXT の追加、音声の正規化などを行います。基本設定に関する詳細は、[「オーディオ CD の基本設定」](#)を参照してください。

6. ディスクに入れるコンテンツをすべて追加したら、[次へ] ボタンをクリックします。

7. [「全般の設定」](#)のオプションおよび[「書き込みオプション」](#)からも調整できます。

8. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。

注: 書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、[「書き込み後、自動的にシャットダウンする」](#)オプションを選択します。

9. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。

- [ログの表示] リンクをクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。

- [ラベル印刷] をクリックして、CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを作成します (コンピューターにプログラムがインストールされている場合)。
- [ラベルの取り込み] をクリックして、スナップショットを取得します。書き込みを行ったディスクをディスク マネージャー* で識別しやすくなります。

注: CyberLink LabelPrint でディスク ラベルを印刷する場合、作成したラベルは自動的にディスク マネージャーに読み込まれるため、取り込む必要はありません。ラベルのスナップショット編集に関する詳細は、[「ディスクラベルのスナップショット」](#)を参照してください。

- [OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

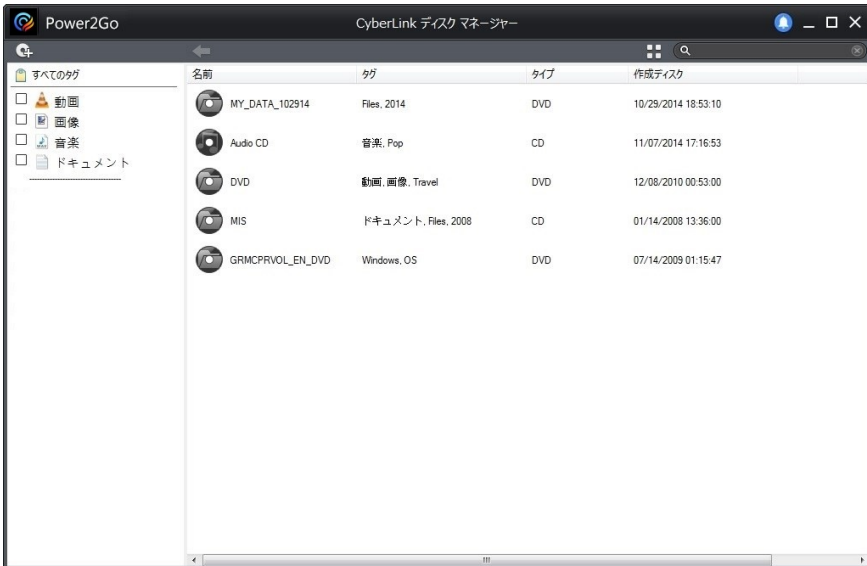
*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

ディスク マネージャーを使用する

[ディスク マネージャー]* は、CyberLink Power2Go を使って作成、書き込みを行った全ディスクのライブラリーです。書き込みタスクの終了後、これらのディスクは自動的に読み込まれます。前に書き込みを行ったディスクを、ディスク マネージャー ライブラリーに読み込むこともできます。

*注: *この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [ディスク マネージャー] を選択して、[ディスク マネージャー] を開きます。ディスク マネージャー ウィンドウにラベルのスナップショットが表示されると、書き込みディスクをさらに簡単に探すことができます。



ディスク マネージャー ライブラリーでディスクを検索するには、ウィンドウ左のタグを選択して、ディスクをフィルターにかけます。ウィンドウ左上の検索フィールドにキーワードを入力して、ディスクまたはファイルを検索することもできます。

ディスクを右クリックして [ディスク情報] を選択すると、ディスク作成時の情報などが表示されます。ディスクに書き込まれたコンテンツをライブラリーに表示するには、それをダブルクリックして、ファイルを表示します。ディスク中のファイルを表示する場合、ディスクをディスクドライブに挿入してから、ファイルをダブルクリックします。

ディスク ライブラリーにディスクを手動で読み込む

ディスク マネージャーでは、CyberLink Power2Go の以前のバージョンで作成したディスクや他のプログラムで書き込んだディスクを読み込むことができます。

ディスク マネージャー ライブラリーにディスクを読み込むには、次の操作を行います。

1. ディスク マネージャーの  をクリックします。[ディスクの読み込み] ウィンドウが開きます。
2. 読み込むディスクをディスク ドライブに挿入して、[OK] をクリックします。ディスクが読み込まれ、[ディスク情報] ウィンドウが表示されます。

3.  をクリックして、ラベルのスナップショットを追加します。ディスク マネージャー ライブラリーで識別しやすくなります。詳細は、[「ディスク ラベルのスナップショットを編集する」](#)を参照してください。

注: ラベルのスナップショットを取得するには、コンピューターに Web カメラか他のビデオ デバイスが搭載されている必要があります。

4. [タグの編集] をクリックして、ディスクにキーワード検索タグを追加します。詳細は、[「ディスクにタグを追加する」](#)を参照してください。
5. [OK] をクリックしてウィンドウを閉じ、ディスク マネージャー ライブラリーにディスクを追加します。

ディスク ラベル スナップショット

ディスク ラベルのスナップショットは、ディスク マネージャー ライブラリーでディスクを識別するのに役立つ画像です。CyberLink LabelPrint を使ってディスク ラベルを作成している場合、自動的に読み込まれ、ディスク マネージャーのラベル スナップショットと同様に使用できます。

取り込んだラベルのスナップショットを編集したり、手描きテキストのディスク、絵、その他使いたいものを取り込んで新しいラベルのスナップショットを追加することができます。

ディスク ラベルのスナップショットを編集する

ディスク ラベルのスナップショットを編集するには、次の操作を行います。

1. [ディスク情報] ウィンドウの  ボタンをクリックして、[ラベル スナップショットの取り込み] ウィンドウを開きます。
2. 取り込みに使用するデバイスをドロップダウンから選択します。
3. Web カメラの前にディスクまたは他のアイテムを置いて、 をクリックします。このステップを繰り返して、もう一度取り込むこともできます。
4. ラベル スナップショットの取り込みが完了したら、[完了] をクリックします。

ディスクにタグを追加する

キーワード検索タグは、ディスク マネージャー ライブラリーでディスクを検索するのに役立ちます。これらのタグをフィルターにかけたり、検索したりして、ディスクを検索します。

ディスクにタグを追加するには、次の操作を行います。

1. [ディスク情報] ウィンドウの [タグの編集] ボタンをクリックして、[タグの編集] ウィンドウを開きます。
2. 既存タグ横のチェック ボックスを選択して、それらのタグを追加します。
3. 新しいタグを追加するには、フィールドに新しいタグを入力して  をクリックします。
4. 検索が完了し、すべてのタグを追加したら、[OK] をクリックして変更内容を保存します。

システム リカバリー

CyberLink Power2Go の システム リカバリー* は、ウイルス、システム クラッシュ、ハードディスクの故障などからコンピューターやデータを保護するための、システム バックアップや復元を行うためのアプリケーションです。

システム リカバリー バックアップを、ディスクまたはリムーバブル USB ストレージドライブに記録することができます。バックアップには、Windows のオペレーション システム プログラムおよびコンピューター中のすべてのデータ ファイルが含まれます。

*注*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

システム リカバリー (USB ドライブ) を作成する

リムーバブル USB ストレージドライブにコンピューターをバックアップするには、次の操作を行います。

Windows 10 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの作成を行う前に、Windows 10 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) および Windows PE のアドオンをダウンロード、インストールします。

1. Windows 10 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロードします。次の Microsoft Web ページより [ADK for Windows 10 バージョン XXXX] のリンクをクリックします <https://msdn.microsoft.com/ja-jp/windows/hardware/dn913721.aspx>

注: 詳細は、こちらの FAQ をご確認ください。 <https://jp.cyberlink.com/support/faq-content.do?id=18414>

2. Windows ADK をインストールします。

注:ADK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み]の最後のステップで <Program Files>\Windows Kits\10\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。Windows 64 ビットの場合、<Program Files (x86)>\Windows Kits\10\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。

3. Windows 10 用の Windows PE アドオンをダウンロードします。次の Microsoft Web ページより [ADK 用の Windows PE アドオンのダウンロード] のリンクをクリックします <https://msdn.microsoft.com/ja-jp/windows/hardware/dn913721.aspx>
4. Windows PE アドオンをインストールします。

Windows 8.1 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの作成を行う前に、Windows 8.1 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロード、インストールします。

1. Windows 8.1 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロードします。<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=39982>
2. Windows ADK をインストールします。

注:ADK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み]の最後のステップで <Program Files>Windows Kits\8.1\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。

Windows 8 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの作成を行う前に、Windows 8 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロード、インストールします。

1. Windows 8 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロードします。<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30652>
2. Windows ADK をインストールします。

注:ADK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み]の最後のステップで <Program Files>Windows Kits\8.0\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。

Windows 7 用の Windows 自動インストールキット (AIK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの作成を行う前に、Windows 自動インストール キット (AIK) をダウンロード、インストールします。

1. Windows 7 用の Windows 自動インストール キット (AIK) をダウンロードする
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753>
2. ダウンロードした .iso ファイルを DVD ディスクに書き込むか、仮想ドライブでダウンロードした .iso ファイルをマウントします。
3. Windows AIK をインストールします。

4. 変更は Power2Go を再起動した後に有効になります。

注: AIK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み] の最後のステップで <Program Files>¥Windows AIK¥Tools¥PETools¥amd64¥winpe.wim を選択してください。

システムリカバリー(USB ドライブ)を作成する

1. 新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [システム リカバリー (USB ドライブ)] を選択します。ウィザードが表示されます。
2. リムーバブル USB ストレージ ドライブをコンピューターの USB ポートに差し込み、[次へ] ボタンをクリックすると、次のウィザード ウィンドウが開きます。

注: CyberLink Power2Go がコンピューターの内容を変更可能な場合、Windows のユーザー アカウント制御のダイアログが表示される場合があります。ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックして続行します。[いいえ] をクリックすると、システム リカバリー ディスクは作成できません。

3.  をクリックして、インストールされた ADK/AIK の場所を検索、選択します。

注: コンピューターにインストールされたキットの場所は、上の ADK/AIK のインストール方法を参照してください。

4. 正しいリムーバブル USB ストレージ ドライブが選択されていることを確認してください。
5. [バックアップ メモ] に、リカバリー ディスクに記録するメモ (コンピューター名やバックアップ日など) を入力します。
6. [バックアップを開始] ボタンをクリックして [OK] をクリックすると、リムーバブル USB ストレージ ドライブへのバックアップが開始します。
7. ウィザードに従ってバックアップ処理を完了します。完了したら [完了] をクリックします。

ディスクにシステム リカバリーの書き込みを行う

コンピューターをバックアップして、システム リカバリー ディスクの書き込みを行うには、次の操作を行います。

Windows 10 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの作成を行う前に、Windows 10 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) および Windows PE のアドオンをダウンロード、インストールします。

1. Windows 10 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロードします。次の Microsoft Web ページより [ADK for Windows 10 バージョン XXXX] のリンクをクリックします:<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/windows/hardware/dn913721.aspx>

注:詳細は、こちらの FAQ をご確認ください。<https://jp.cyberlink.com/support/faq-content.do?id=18414>

2. Windows ADK をインストールします。

注:ADK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み] の最後のステップで <Program Files>\Windows Kits\10\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。Windows 64 ビットの場合、<Program Files (x86)>\Windows Kits\10\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。

3. Windows 10 用の Windows PE アドオンをダウンロードします。次の Microsoft Web ページより [ADK 用の Windows PE アドオンのダウンロード] のリンクをクリックします:<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/windows/hardware/dn913721.aspx>
4. Windows PE アドオンをインストールします。

Windows 8.1 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの書き込みを行う前に、Windows 8.1 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロード、インストールします。

1. Windows 8.1 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロードします。<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=39982>
2. Windows ADK をインストールします。

注:ADK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み] の最後のステップで <Program Files>\Windows Kits\8.1\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。

Windows 8 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をインストールする

システム リカバリー ディスクの書き込みを行う前に、Windows 8 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロード、インストールします。

1. Windows 8 用の Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) をダウンロードします。<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30652>
2. Windows ADK をインストールします。

注:ADK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み]の最後のステップで <Program Files>Windows Kits\8.0\Assessment and Deployment Kits\Windows Preinstallation Environment\amd64\en-us\winpe.wim を選択してください。

Windows 7 用のWindows 自動インストールキット (AIK)をインストールする

システム リカバリー ディスクの書き込みを行う前に、Windows 自動インストール キット (AIK) をダウンロード、インストールします。

1. Windows 7 用の Windows 自動インストール キット (AIK) をダウンロードする
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753>
2. ダウンロードした .iso ファイルを DVD ディスクに書き込むか、仮想ドライブでダウンロードした .iso ファイルをマウントします。
3. Windows AIK をインストールします。
4. 変更は Power2Go を再起動した後に有効になります。

注:AIK の保存先が検出できない場合は、[リカバリー ディスクの書き込み]の最後のステップで <Program Files>Windows AIK\Tools\PETools\amd64\winpe.wim を選択してください。

システムリカバリー ディスクの書き込みを行う

1. 新規タスク ウィンドウの [ユーティリティ] オプションの [システム リカバリー (ディスク)] を選択します。ウィザードが表示されます。
2. [次へ] ボタンをクリックして、次の手順に進みます。

注:CyberLink Power2Go がコンピューターの内容を変更可能な場合、Windows のユーザー アカウント制御のダイアログが表示される場合があります。ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックして続行します。[いいえ] をクリックすると、システム リカバリー ディスクは作成できません。

3.  をクリックして、インストールされた ADK/AIK の場所を検索、選択します。

注:コンピュータにインストールされたキットの場所は、上のADK/AIKのインストール方法を参照してください。

4. 正しい書き込みドライブが選択されていることを確認してください。
5. [ディスクタイプ] のドロップダウンから、Windows のファイルおよびデータをバックアップするディスク タイプを選択します。

注:ディスクタイプは、コンピュータに接続される書き込みドライブと使用する光学ディスクに基づいて選択します。

6. [バックアップ メモ] に、リカバリー ディスクに記録するメモ (コンピュータ名やバックアップ日など) を入力します。
7. [バックアップを開始] ボタンをクリックして、コンピュータのバックアップとシステムリカバリー ディスクの書き込みを行います。システム リカバリー ディスクに2枚以上のディスクが必要な場合は、次のディスクを入れるようダイアログが表示されます。
8. ウィザードに従ってバックアップ処理を完了します。完了したら [完了] をクリックします。

コンピューターを復元する

作成したシステムリカバリー ディスク(リムーバブルUSB ストレージドライブ) から復元する

システム リカバリー ディスクからコンピューターを復元するには、次の操作を行います。

1. コンピューターの USB ポートのいずれかに、システム リカバリー ディスクを記録したリムーバブル USB ストレージドライブを挿入します。
2. コンピューターを復元します。
3. コンピューターが再起動すると、システム リカバリーの復元ウィザードが表示されます。
4. [次へ] ボタンをクリックして、[開始] をクリックして復元を開始します。
5. ウィザードの手順に従ってコンピューターの復元を行います。
6. 復元が完了したら、[シャットダウン] をクリックしてコンピューターの電源を切るか、[再起動] をクリックして Windows を再起動します。

注:コンピューターを再起動する場合は、USB ポートからリムーバブル USB ストレージドライブを外してください。

システム リカバリー ディスクから復元する

システム リカバリー ディスクからコンピューターを復元するには、次の操作を行います。

1. コンピューターのディスクドライブに 1 枚目のシステム リカバリー ディスクを入れます。
2. コンピューターを復元します。
3. コンピューターが再起動すると、システム リカバリーの復元ウィザードが表示されます。
4. [次へ] ボタンをクリックして、[開始] をクリックして復元を開始します。
5. ウィザードの手順に従ってコンピューターの復元を行います。
6. 復元が完了したら、[シャットダウン] をクリックしてコンピューターの電源を切るか、[再起動] をクリックして Windows を再起動します。

注:コンピューターを再起動する場合は、ディスクドライブからシステム リカバリー ディスクを取り出してください。

LabelPrint を起動する

最後に、ディスク ラベルを作成します。[ユーティリティ] の [LabelPrint の起動] をクリックして、CyberLink LabelPrint を開きます。

注:CyberLink Power2Go は、作成したディスクのタイトルと他の情報を LabelPrint に送信します。この情報はタイトルとトラック フィールドに別々に追加されるため、ディスク ラベルを作成時にこの情報を再入力する必要はありません。ラベルが作成されると、情報は自動的にディスク マネージャーに読み込まれます。

ディスク ラベル作成に関する詳細は、プログラムのヘルプ ファイルを参照してください。

第 12 章:

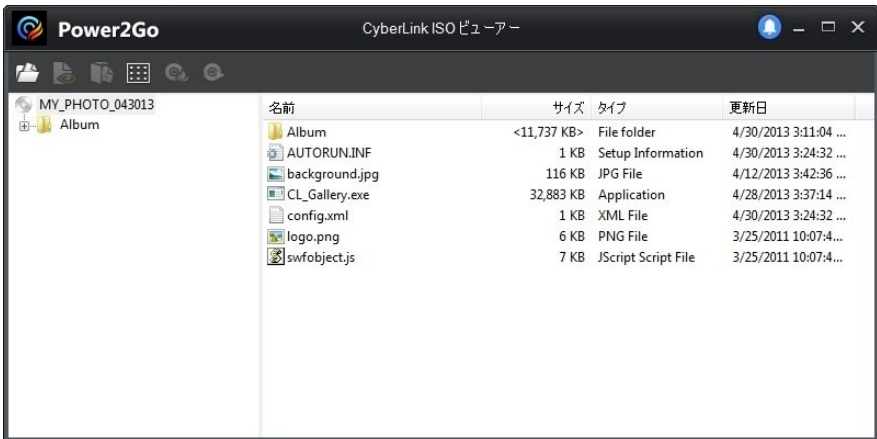
その他の書き込み注意と機能

ディスクに書き込む際に役立つ内容および機能は、次の通りです。

CyberLink ISO ビューアーを使用する

CyberLink ISO を使って、コンピューター ハードドライブ内の ISO、P2I (Power2Go イメージ)、RDF 形式のディスク イメージを表示することができます。このツールを使うと、イメージ ファイルのコンテンツを表示したり、ファイルを抽出したり、イメージをディスクに書き込むことができます。

CyberLink ISO ビューアーを開くには、Windows のスタート メニューから **[CyberLink ISO ビューアー 13]** オプションを選択するか、ハードドライブのイメージ ファイルを右クリックして **[CyberLink ISO ビューアー 13]** を選択します。



CyberLink ISO ビューアーで実行可能な機能は、次の通りです。

-  ボタンをクリックして、コンピューターのイメージ ファイル (ISO、P2I、RDF 形式) を検索および開きます。イメージ ファイルが開くと、イメージに含まれるすべてのファイルが表示されます。

注: CyberLink ISO ビューアーでのファイルの表示を変更するには、 をクリックします。

- CyberLink ISO ビューアーでファイルをクリックして、 をクリックすると、デフォルトのプログラムが表示されます。
- イメージからファイルを抽出してコンピューターに保存するには、ファイルを選択して  をクリックします。
- 表示されるイメージをディスクに書き込むには、 ボタンをクリックします。ディスク イメージの書き込みに関する詳細は、[「ディスク イメージを書き込む」](#)を参照してください。
- イメージをコンピューターのドライブとしてマウントするには、 ボタンをクリックします。ディスク イメージのマウントに関する詳細は、[「ディスク イメージをマウントする」](#)を参照してください。

マルチセッション ディスク

データ ディスクを書き込む際に、コンテンツが追記可能なマルチセッション ディスクを作成することができます（ディスクに空き容量がある場合）。CD、DVD、ブルーレイ ディスクへの書き込みで、マルチセッション ディスクを作成することができます（追記禁止を選択していない場合）。

注: 書き込み時に[オプション]タブの[追記禁止]が選択されていない場合に、マルチセッション ディスクが作成されます。詳細は、[「書き込みオプションを設定する」](#)を参照してください。

マルチセッション ディスクでは、ディスクが一杯になるか、追記禁止を選択するまで、コンテンツを何度も追記することができます。

第 13 章:

Power2Go の基本設定

[基本設定] では、プログラムの一時ディレクトリー、UI 言語、容量などを設定することができます。[基本設定] のウィンドウを開くには、新規機能ウィンドウ上の [編集] > [基本設定] を選択するか、新規タスク ウィンドウの  ボタンをクリックします。

全般の基本設定

 ボタン (または新規機能ウィンドウ上の [編集] > [基本設定]) を選択して [基本設定] ウィンドウを開き、[全般] タブを選択して次のように設定します。

- 一時ディレクトリー:書き込み中に一時ファイルを保存する作業ディレクトリーを指定します。

注:利用可能なディスク(一時ディレクトリーを含む)容量は、「システム要件」に記載されるハードディスクの容量以上である必要があります。ディスクに書き込みを行う前に、フォルダー中の一時ファイルが作成、保存されるためです。

- 書き込み後にディスクラベルを印刷する:書き込み確認ウィンドウに [ラベル印刷] ボタンを表示するには、このオプションを選択します。このボタンをクリックすると、書き込みディスクのディスクラベルを作成することができます (CyberLink LabelPrint がインストールされている場合)。
- Windows の起動時にデスクトップ書き込みガジェットを実行する:コンピューターの起動時に自動的にデスクトップ書き込みガジェットを起動します。
- ディスク書き込み時に、ディスク マネージャー ライブラリーに自動的にディスク情報を追加する:書き込みを行ったすべてのディスクを自動的にディスク マネージャー ライブラリーに追加する場合に、このオプションを選択します。
- 製品のアップデート情報を確認する:製品のアップデート情報を定期的に確認するには、このオプションを選択します。
- 書き込み後にディスクを取り出す:書き込み後にディスクを取り出す場合、このオプションを選択します。
- CyberLink 製品向上プログラムに参加する:Power2Go の CyberLink 製品向上プログラムに参加する場合、このアイテムを選択します。有効にすると、コンピューター システムのハードウェアおよびソフトウェアの構成、またソフトウェアに関連する操作および統計情報についても収集されます。収集コンテンツに関する詳細を表示するには、[詳細情報] をクリックしてください。

- [次回からこのメッセージを表示しない] をすべてリセット:[リセット] ボタンをクリックすると、メッセージ ダイアログの [次回からこのメッセージを表示しない] チェックボックスがすべてリセットされ、デフォルト設定に戻ります。このボタンをクリックすると、[次回からこのメッセージを表示しない] が含まれるメッセージ ダイアログが再び表示されるようになります。

容量の基本設定

 ボタン (または新規機能ウィンドウ上の [編集] > [基本設定]) をクリックして [基本設定] ウィンドウを開き、[容量] タブを選択して、CD にコンテンツを書き込む際のディスク サイズをカスタマイズすることができます (700 MB 以上のディスクを使用する場合)。次の設定を行います。

- 自動検出:自動的にディスクの容量を検出します。
- CD-R/RW 容量のカスタマイズ:このオプションを選択して、ディスクの容量 (分) を入力します。

ライブラリーの基本設定

 ボタン (または新規機能ウィンドウ上の [編集] > [基本設定]) を選択して [基本設定] ウィンドウを開き、[ライブラリー] タブを選択し、ミュージック ディスクを作成時に音楽情報をダウンロードするかを設定できます。ライブラリーにフォルダーを追加することもできます。

- インターネットからアルバム/ディスクの情報を自動的に取得する:このオプションを選択すると、音声ファイルを取り込む際に、曲およびアルバムの情報が自動的に取得されます。
- [ライブラリー] タブでは、監視するフォルダーを追加、削除できます。フォルダーを追加するには、[追加] ボタンをクリックして追加するフォルダーを選択し、[OK] をクリックします。これらのフォルダーが監視され、フォルダーに音楽、動画、データファイルが入ると、自動的にライブラリーに追加されます。

注:Power2Go のライブラリーは、音楽やデータ ディスクを作成する場合や、音声や動画ファイルを変換する場合に便利です。追加されたフォルダー中の音楽は、音楽ディスクを作成時に、検索ペインの [メディア] タブに表示されます。また、これらのフォルダー中の音楽、動画、データファイルは、音楽、データディスクを作成時、または [メディアコンバーター] で動画、音声ファイルを変換時に、検索フィールドで検索が可能です。

言語の基本設定

 ボタン (または新規機能ウィンドウ上の [編集] > [基本設定]) を選択して [基本設定] ウィンドウを開き、[言語] タブを選択してユーザー インターフェイスの言語を設定します。

- システムのデフォルト言語を使用する (対応する場合): このオプションを選択すると、オペレーティング システムのデフォルト言語で表示されます。この機能は、お使いの OS 言語が、ユーザー定義の言語のいずれかに該当する場合にご利用いただけます。
- ユーザー定義: このオプションを選択して、ドロップダウン リストから希望の言語を選択します。

第 14 章:

Power2Go の設定

この章では、CyberLink Power2Go の設定方法（ディスクの書き込みおよびオンラインメディアのダウンロード）について説明します。書き込み/ダウンロード処理中に [次へ] ボタンをクリックすると、[設定/情報] ウィンドウが自動的に表示されます。

手動で [設定/情報] ウィンドウを表示するには、ディスク作成時にメニューの [書き込み] > [設定] を選択するか、キーボードの [Ctrl + I] を押します。

注:[設定/情報] ウィンドウに表示されるオプションとタブは、選択したタスクによって異なります。

全般の設定

書き込み/ダウンロード中に [次へ] ボタンをクリックすると、[設定/情報] ウィンドウが表示されます。[全般] タブを選択して、次のオプションを設定します。ディスクを作成時にメニューから [書き込み] > [設定] を選択するか、キーボードの [Ctrl + I] を押して [全般] タブを選択することもできます。

- **ディスク名:**ディスクの名前（最大 16 文字）を入力します。ディスク名はディスクの再生時に、ディスク プレーヤー上に表示されます。また、ディスク マネージャーで識別しやすくなります。
- **書き込みドライブ:**ディスク書き込み用のドライブが表示されます。新規機能ウィンドウで、書き込み用ドライブを変更することができます。
- **書き込み速度:**ドロップダウン リストから書き込み速度を選択します。表示される速度は、コンピューターにインストールされているドライブによって異なります。
- **コピー枚数:**書き込むディスクの枚数を入力します。
- **ディスク マネージャー タグ:**[タグの編集] ボタンをクリックして、書き込みディスクのキーワード検索タグを追加します。タグがあると、ディスク マネージャー* ライブラリーでさらに簡単に書き込みを行ったディスクを検索することができます。詳細は、[「ディスクにタグを追加する」](#)を参照してください。

*注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

書き込みオプション

書き込み/ダウンロード中に [次へ] ボタンをクリックすると、[設定/情報] ウィンドウが表示されます。[オプション] タブを選択して、次のオプションを設定します。ディスクを作成

時にメニューから [書き込み] > [設定] を選択するか、キーボードの [Ctrl + I] を押して [オプション] タブを選択することもできます。

注: このタブに表示されるオプションは、選択した書き込みタスクによって異なります。

- オートラン ディスクを作成する: ディスクをドライブに挿入時、自動的に選択したファイルを開くようにするには、このオプションを選択します。[参照] をクリックして、ディスク挿入時に開くファイルを選択します。ファイルは EXE、HTML、TXT ファイルにします。
- ディスクアイコンを変更する: 一部のディスクでは、Windows エクスプローラーで表示されるディスク アイコンを変更することができます。[参照] をクリックして、使用するアイコン画像 (ICO ファイル形式) を選択します。
- ディスク容量によりコンテンツを自動分割する: 出力先ディスクのサイズに応じて、書き込まれるファイルを自動的に分割します。
- ファイル システム: ディスクのファイル システム (ISO9660/Joliet、UDF 1.5、UDF 2.0、UDF 2.5、UDF 2.6) を設定します。
- バッファ アンダーラン防止を有効にする: このオプションを選択すると、中断することなくデータがディスクに書き込まれます。データが中断されるとディスクは使用できなくなります。
- 書き込み前に書き込みテストを行う: このオプションを選択すると、書き込みを行う前に、書き込みテスト (ディスクが選択した速度で確実に書き込みが行えるか) を行います。

注: バッファ アンダーラン防止が有効になっている場合、または過去に同じ設定で書き込みを行っている場合は、書き込みテストは行う必要はありません。

- 追記禁止 (今後データは追加できません): このオプションを選択すると、ディスクの追記が禁止されます。一度書き込みを行うと、次に書き込みを行うことはできません。このオプションを選択しない場合は、マルチセッション ディスクを作成することができます。詳細は、[「マルチセッション ディスク」](#)を参照してください。
- 書き込みデータを確認する: 書き込み後に書き込みデータを確認する場合は、このオプションを選択します。データが正しく書き込まれたか素早く確認するには [高速確認] を、データを個別に確認するには [完全確認] を選択します。[完全確認] には時間がかかります。
- 不具合管理を有効にする: ディスクの不具合を修正して正常に書き込みを行う場合は、このオプションを選択します。

ファイル書き込み日

- 元の日時を使う: このオプションを選択すると、ファイルのディスクに書き込みに各ファイルの元の日時が使用されます。

- 現在の日時を使う:このオプションを選択すると、ファイルのディスクに書き込みに現在の日時が使用されます。
- この日時を使う:このオプションを選択すると、ファイルのディスクに書き込みに指定する日時(手動で入力)が使用されます。

情報タブ

書き込み/ダウンロード中に [次へ] ボタンをクリックすると、[設定/情報] ウィンドウが表示されます。[情報] タブを選択すると、選択したディスクドライブ、ドライブ内のディスク、現在のプロジェクトが表示されます。ディスクを作成時にメニューから [書き込み] > [設定] を選択するか、キーボードの [Ctrl + I] を押して [情報] タブを選択することもできます。

項目横の [+] ボックスをクリックすると、詳細情報が表示されます。新しいディスクを挿入したり、別のドライブに変更する場合は、 をクリックして、最新情報が表示されていることを確認してください。

ダウンロードの設定

[ダウンロード]* 設定タブは、オンライン メディアをディスクにバックアップするか、コンピューターのハードドライブにダウンロードする場合に表示されます。オンライン メディアをバックアップ中にメニューから [書き込み] > [設定] を選択するか、キーボードの [Ctrl + I] を押してアクセスすることもできます。ここでは次のように設定します。

- ダウンロード再試行回数:オンライン メディア サイトからのダウンロード再試行回数を選択します。
- ダウンロード スレッド数:オンライン メディア サイトから一度にダウンロード可能なファイル数を選択します。
- 書き込み後に一時ファイルを削除する:オンライン メディアをディスクにバックアップする時、ディスクに書き込まれる前に一時フォルダーに入っているダウンロードメディア ファイルをすべて削除する場合、このオプションを選択します。
- 一時フォルダー:オンライン メディアをディスクにバックアップする時、ディスクに書き込まれる前にオンライン メディア ファイルがダウンロードされるフォルダーです。ディスクに書き込まない場合は、オンライン メディアのファイルがダウンロード、保管されるフォルダーです。[フォルダーの選択] ボタンをクリックして、コンピューターの他のフォルダーを指定します。

*注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

動画の設定

[動画]* 設定タブは、ビデオ ディスクを作成時に [書き込み]>[設定] またはキーボードの [Ctrl + I] を選択します。このタブでは、DVD、ブルーレイ ディスク、AVCHD ディスクに書き込む場合に次のように設定します。

GPU アクセラレーションの基本設定

- ハードウェアビデオデコードを有効にする*(可能な場合):コンピュータが Intel Core プロセッサファミリー、NVIDIA CUDA、AMD Accelerated Parallel Processing に対応する場合、このオプションを選択すると、ハードウェアアクセラレーションで動画がデコードされ、ディスクに高速に書き込まれます。
- ハードウェアビデオエンコードを有効にする*(可能な場合):コンピュータが Intel Core プロセッサファミリー、NVIDIA CUDA、AMD Accelerated Parallel Processing に対応する場合、このオプションを選択すると、ハードウェアアクセラレーションで動画がエンコードされ、ディスクに高速に書き込まれます。

*注:*この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。*

第 15 章:

テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

テクニカル サポートにお問い合わせになる前に

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、次のサポート オプション内容をご確認ください（無料）。

- プログラムのオンライン ヘルプを参照する。
- CyberLink Web サイトの FAQ を参照する。
<https://jp.cyberlink.com/support/search-product-result.do>
- このドキュメントの「[ヘルプ リソース](#)」ページを参照する。

テクニカル サポートにメールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み プロダクト キー（プロダクト キーは、ソフトウェア ディスク ケース、ボックス カバー、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています）。
- 製品名、バージョン、ビルド番号（通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます）。
- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス（キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード）およびその仕様。システム情報を DxDiag.txt で出力し、添付する。

注: システム情報を DxDiag.txt ファイルで出力するには、Windows (スタート) ボタンをクリックし、“dxdiag”を検索します。【情報をすべて保存】ボタンをクリックして、DxDiag.txt ファイルを保存します。

- 表示された警告メッセージの内容（メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください）。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料でご利用いただけます。

注: CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	https://www.cyberlink.com/cs-help
中国語（繁体字）	https://tw.cyberlink.com/cs-help
日本語	https://jp.cyberlink.com/cs-help
スペイン語	https://es.cyberlink.com/cs-help
韓国語	https://kr.cyberlink.com/cs-help
中国語（簡体字）	https://cn.cyberlink.com/cs-help
ドイツ語	https://de.cyberlink.com/cs-help
フランス語	https://fr.cyberlink.com/cs-help
イタリア語	https://it.cyberlink.com/cs-help

ヘルプ リソース

CyberLink 製品をご使用の際、次のヘルプ リソースもご利用いただけます。

- CyberLink の **FAQ** ページ: <https://jp.cyberlink.com/cs-resource>
- ソフトウェアの **ビデオ チュートリアル**: <https://directorzone.cyberlink.com/tutorial/>